KENWOOD

U383BT

MP3/WMA/AAC対応CD/USBレシーバー

取扱説明書

お買い上げいただきましてありがとうございます。
ご使用の前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ、説明の通り正しくお使いください。
また、この取扱説明書は大切に保管してください。
本機は日本国内専用モデルのため、外国で使用することはできません。

株式会社 JVCケンウッド

Bluetooth®

Made for iPod iPhone

Designed for Windows Media™

© 2012 JVC KENWOOD Corporation

GET0861-001A (JW/J0)

目次

5 はじめに
5 安全上のご注意
7 ご使用の前に

10 まずはここから覚えてください
10 各部の名前とはたらき
11 時計を調整しよう
12 共通の操作を覚えよう
12 電源を入れてみよう
12 音源を切り替えよう
12 音量を調整しよう
12 交通情報を聴いてみよう
13 お好みの音源を聴いてみよう
13 ディスクを聴くには...
13 ラジオを聴くには...
13 外部機器を聴くには...
14 USB機器を聴くには...
14 iPod/iPhoneを聴くには...
15 iPod/iPhoneのBluetoothオートペアリングについて
15 iPod/iPhoneの操作について（App & iPod Control Mode）
15 KENWOOD Music Editor Light/KENWOOD Music Controlについて
15 iPod/iPhoneについて

16 ディスクやオーディオファイル/iPod/iPhoneを聴く
16 本機で使えるメディアとオーディオファイル
16 オーディオファイルの階層と再生順序
17 再生中の画面表示
17 再生中に使うボタン
18 いろいろな機能を使って再生しよう
18 いつもと違う曲順で聴く（ランダム再生）
18 同じ曲を繰り返し聴く（リピート再生）
19 聴きたい曲を名前で探す（ミュージックサーチ）
20 すばやくスクロールして探す（スキップサーチ）
20 文字を入力して曲を探す（アルファベットサーチ）iPod/iPhoneのみ

22 ラジオを聴く

22 ラジオ受信中の画面表示
22 いろいろな機能を使って選局しよう
22 聴きたい放送局を自動で探す
23 放送局を自動登録する（オートメモリー）
23 放送局を一つずつ登録する（手動登録）
23 登録した放送局を呼び出す
24 お気に入りの放送局を登録してワンタッチで呼び出す（Mixed Preset Memory）

25 本機を盗難から守るために

25 操作パネルを脱着する

26 Bluetoothオーディオの操作をする

26 使用できるBluetoothオーディオ機器
26 使用を始める前に
26 再生中の画面表示
27 Bluetoothオーディオ再生中に使うボタン
27 いつもと違う曲順で聴く（ランダム再生）
27 同じ曲を繰り返し聴く（リピート再生）

28 ハンズフリー通話の操作をする

28 使用できるBluetooth対応携帯電話
28 使用を始める前に
29 Bluetooth機器を登録する
29 登録する（ペアリング）
29 音声でiPhoneを操作する
30 携帯電話を利用する
30 電話を受ける
30 通話を終了する
30 電話をかける
31 電話番号を入力して電話をかける
31 登録した番号に電話をかける
32 電話帳を利用する
33 履歴から電話をかける
34 音声で携帯電話を操作する
34 携帯電話を切り替える
35 Bluetooth機器の登録をテストする
35 いろいろな操作

36 本機の設定をする
36 お好みの音質に調整しよう
38 音源ごとに設定を変更しよう
40 Bluetoothの設定を変更しよう
42 接続するBluetooth機器を選択する
42 Bluetooth機器の登録を削除する
43 PINコードを登録する
44 初期設定を変更しよう
46 こんなときは
46 故障かな?と思ったら
47 こんなメッセージが表示されたら...
50 本機を取り付ける
52 配線をしましょう
54 取り付けましょう
55 仕様
56 保証とアフターサービス
56 保証について
56 修理を依頼されるときは
57 ケンウッド 全国サービス網

本書に記載されているディスプレイ部やパネルの表記は、操作説明を円滑に行うための例です。
そのため、実際の機器とは異なることや、実際にはありえない表示パターンが記載されていることがあります。

安全上のご注意

製品を安全にご使用いただくため「安全上のご注意」をご使用の前によくお読みください。

この取扱説明書では、製品を安全に正しくお使い頂き、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止する為にいろいろな絵表示をしています。
その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠警告	**この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。**
⚠注意	**この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。**

■ 絵表示の例

注意
△記号は注意（警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。
近傍に具体的な注意内容が描かれています。

禁止
⃠記号は禁止の行為であることを告げるものです。
図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。

実施
●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。
近傍に具体的な内容が描かれています。

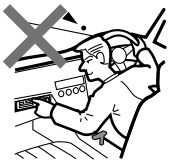
お客様または第三者が、この製品の誤使用、使用中に生じた故障、その他の不具合またはこの製品の使用によって受けられた損害については法令上の賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

交通事故の発生を防ぐため、必ず以下の事項をお守りください。

⚠警告

実施

● 運転者が以下のような行為をするときは、必ず、安全な場所に車を停車させてから、行ってください。
• カーオーディオの操作（音量調節、ディスクの挿入やUSB機器の接続・取り出しなど）



⚠警告

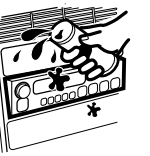
警告

● 運転中の音量は、車外の音が聞こえる程度でご使用ください。

● USB機器とUSBケーブルは、運転に支障をきたさないような場所に固定してください。

● 以下のような異常があった場合は、直ちに使用を中止し、お買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンターへご相談ください。そのまま使用すると、火災その他の事故の原因となります。

- 音が出ない
- ディスプレイが表示されない
- 異物が入った
- 水がかかった
- 煙が出る
- 変な匂いがする



● 修理は必ずお買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンターにご依頼ください。お客様による修理は、火災その他の事故の原因となります。

禁止

● 本機の分解や改造はしないでください。火災その他の事故の原因となります。

⚠注意

注意

● ディスク挿入口に手や指を入れないでください。ケガをすることがあります。

禁止

● 本機内に水や異物を入れないでください。発煙、発火、感電の原因となります。

● 本機は、車載用以外としての用途では使用しないでください。

● 本機に、強い衝撃を与えないようにしてください。ガラス部品を使用しているため、割れてケガをするおそれがあります。

実施

● 本機の取り付け・配線は技術と経験が必要です。安全のため〈お買い上げの販売店〉にご依頼ください。

ご使用の前に

本機を使用していただくうえで、知っておいていただきたいことです。

表示できる文字について

本機で表示できる文字は、英大文字と数字のみです。

使用できるリモコンについて

本機は、リモコンが使用できます。使用できるリモコンについては、カタログをご覧になるか、購入店にお問い合わせください。なお、操作方法はリモコンに付属の取扱説明書に記載されています。

お手入れについて

本機の操作パネルが汚れたときは、シリコンクロスか柔らかい布でから拭きしてください。汚れがひどいときは、中性のクリーナーを付けた布で汚れを落とし、その後クリーナーを拭き取ってください。
スプレー式のクリーナーなどを直接本機に吹きかけると、本機の機構部品に支障を与える場合があります。
また、固い布やシンナー、アルコールなどの揮発性のもので拭くと、傷が付いたり文字が消えることがあります。

レンズクリーナーについて

レンズクリーナーは使用しないでください。光学系部品に損傷を与えたり、イジェクトができなくなるなど、故障の原因になる場合があります。

オートアンテナ付き車に取り付けた場合

ラジオのアンテナが自動的に伸びるオートアンテナ車に取り付けた場合、音源をラジオにしたり交通情報機能をオンにすると、車両のアンテナが自動的に伸びます。
天井の低い車庫に入る場合は、本機の電源をオフにするか、FM/AM放送、交通情報以外に切り替えてください。

温度について

直射日光下で窓を閉めきっていると、自動車内は非常に高温になります。
本機内部が60℃を超える高温になると、保護回路が動作してディスクの演奏ができなくなります。
このようなときは、車内の温度を下げると、保護回路が解除され、演奏ができる状態になります。もし正常に動作しないときは本機の**リセットボタン（P.7）**を押してください。

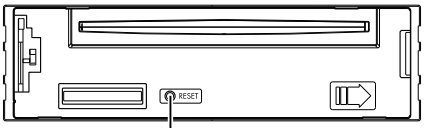
結露について

寒いときにヒーターを付けた直後など、本機の内部に露（水滴）が付くことがあります。これを結露といい、この状態ではディスクの読み取りができなくなります。
このようなときは、ディスクを取り出して約1時間ほど放置すると、結露が取り除かれます。
もし、何時間たっても正常に作動しない場合は、お買い上げの販売店またはお近くのケンウッドサービスセンターへご相談ください。

異常にお気づきのときは(リセットする)

本機の異常にお気づきのときは、**「故障かな?と思ったら」(P.46)**と**「こんなメッセージが表示されたら...」(P.47 ～ P.49)**を参照して解決方法をお調べください。

解決方法が見つからないときは、**「操作パネルを脱着する」(P.25)**を参照して操作パネルを取り外し、本機のリセットボタンをペン先などで押してください。



リセットボタン

リセットボタンを押しても正常に戻らないときや、本機の電源を切り、お買い上げの販売店またはお近くのケンウッドサービスセンターへ相談してください。

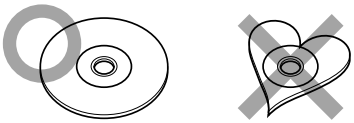
お気をつけください

●USB機器、iPod/iPhoneを車内に放置しないようにしてください。直射日光や高温などの影響により、USB機器、iPod/iPhoneが変形や故障する場合があります。

●以下のディスクは使用しないでください。

8cmディスク
8cmディスク、アダプターは使用できません。ディスクが取り出せなくなるなど、本機が故障することがあります。

特殊な形状のディスク
円形以外のディスクは、故障の原因になります。



記録面（タイトル面の裏）に着色や汚れがあるディスク
引き込まれない、取り出せないなどの誤動作の原因になります。記録面には触れないようにお取り扱いください。

マークのないディスク
正しく再生されない可能性があります。

ファイナライズ処理していないCD-R、CD-RW
お使いのCD-R/CD-RWライティングソフト、CD-R/CD-RWレコーダーを参照して、記録を行った機器以外のプレーヤーでも再生できるようにするための処理（ファイナライズ処理）を行ってください。ただし、CD-R/CD-RWはファイナライズ処理をしていても、記録状態によって再生できない場合があります。

汚れ、傷、ゴミのついたディスク、反りのあるディスク
音飛びなどの誤動作や音質劣化の原因になることがあります。

表面に紙テープなどが貼られたディスク、ラベルのノリがはみ出したディスク
ディスクが取り出せなくなったり、本機が故障することがあります。

●ディスクが汚れたときは、市販のクリーニングクロスや柔らかい木綿の布などで、中心から外側に向かって軽くふき取ってください。レコード用クリーナー、静電防止剤やシンナー、ベンジンなどの薬品は絶対に使用しないでください。

●本機からディスクを取り出すときは、ディスクを下側に強く押さず、水平方向に引き出してください。ディスクを下側に押すと、記録面に傷を付ける原因となります。

●新しいディスクを使うときは、ディスクのセンターホールおよび外周部に“バリ”がないことを確認してください。“バリ”がついたまま使用すると、ディスクが挿入できなかったり音飛びの原因になります。“バリ”があるときは、ボールペンなどで取り除いてから使用してください。

●音質向上やディスク保護を目的としたディスク用アクセサリー（スタビライザー、保護シート、レンズクリーナーなど）は使用しないでください。故障の原因となります。

電波について

●本機は、電波法に基づく小電力データ通信システム無線局設備として技術基準適合証明を受けています（受けた部品を使用しています）。したがって、本機を使用するときに無線局の免許は必要ありません。日本国内のみで使用してください。日本国内以外で使用すると各国の電波法に抵触する可能性があります。また、本機は、電気通信事業法に基づく技術基準適合証明を受けていますので、以下の事項を行うと、法律で罰せられることがあります。
- 分解/改造すること
- 本機に貼ってある証明ラベルをはがすこと

●本機は2.4GHz帯の周波数を使用しますが、他の無線機器も同じ周波数を使っていることがあります。ほかの無線機器との電波干渉を防止するため、下記事項に注意してご使用ください。

使用上のご注意

本機の使用周波数帯（2.4GHz）では、電子レンジ等の産業・科学・医療機器のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）及び特定小電力無線局（免許を要しない無線局）並びにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

1. 本機を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局、並びにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、本機から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するか、または電波の発射を停止した上、当社カスタマーサポートセンターにご連絡頂き、混信回避の処置等についてご相談ください。
3. その他、本機から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して、有害な電波干渉の事例が発生した場合など、何かお困りのことが起きたときは、当社カスタマーサポートセンターへお問い合わせください。

●製品に表示している周波数表示の意味は下記の通りです。

2.4：2.4GHz帯を使用する無線機器です。
FH：FH-SS変調方式を表します。
1：電波与干渉距離は10 mです。
□□□：全帯域を使用し、移動体識別装置の帯域を回避可能です。

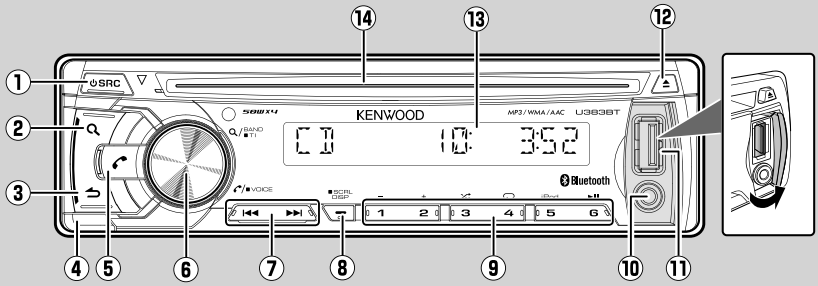
●使用可能距離は見通し距離約10 mです。
鉄筋コンクリートや金属の壁等をはさんでトランスミッターとレシーバーを設置すると電波を遮ってしまい、音楽が途切れたり、出なくなったりする場合があります。本機を使用する環境により伝送距離が短くなります。

●下記の電子機器と本機との距離が近いと電波干渉により、正常に動作しない、雑音が発生するなどの不具合が生じることがあります。
- 2.4GHzの周波数帯域を利用する無線LAN、電子レンジ、デジタルコードレス電話などの機器の近く。電波が干渉して音が途切れることがあります。
- ラジオ、テレビ、ビデオ、BS/CSチューナー、VICSなどのアンテナ入力端子を持つAV機器の近く。音声や映像にノイズがのることがあります。

●本機は電波を使用しているため、第3者が故意または偶然に傍受することが考えられます。重要な通信や人命にかかわる通信には使用しないでください。

各部の名前とはたらき

本機の各部の名前とおもな働きについて説明します。



番号	名前/本書での表記	動作
①	ソースボタン SRC	• 本機の電源をオンします。1秒以上押すと、本機の電源をオフします。(P.12) • ラジオやCDなどの音源を切り替えます。(P.12)
②	サーチボタン 🔍	• CDやオーディオファイル再生時に、曲を検索します。(P.19, P.20) • ラジオではバンドを選択します。(P.13) • 1秒以上押すと、交通情報を受信します。(P.12)
③	リターンボタン ↩	• 設定操作中、一つ前の項目に戻ります。 • オーディオファイル選択時は、一つ上のフォルダに戻ります。 • 1秒以上押すと、設定状態またはオーディオファイル選択状態を解除します。
④	リリースボタン	押すと、操作パネルが取り外せます。(P.25)
⑤	TELボタン 📞	• ボタンを押すと発信モードになります。(P.30 ～ P35, P.40) • 着信時に押すと通話を開始します。 • 1秒以上押すと、音声認識モード (P.29, P.34) に切り替ります。 • Bluetoothモードのときに1秒以上押すと、携帯電話を切り替えます。(P.34)
⑥	ボリュームノブ	• 左右に回して、音量を調節します。(P.12) • 押して設定モードに入り、左右に回して項目を選択します。最後に押してその項目の設定を確定します。(P.36, P.38, P.40, P.44) • CDやオーディオファイルの検索中に押して、選択した曲やフォルダを確定します。(P.19)
⑦	シークボタン ⏮ ⏭	• ラジオの周波数を切り替えます。 • ⏮ を1回押すと、再生中の曲を先頭から再生します。2回押すと、一つ前の曲を再生します。 • ⏭ を押すと、一つ後の曲を再生します。 • 押し続けると、早戻し／早送りします。
⑧	ディスプレイボタン DISP	• 時計や、再生中の音源の情報を切り替えます。(P.17, P.22, P.26) • タイトル表示中に1秒以上押すと、再生中の曲タイトルなどをスクロールします。 • 時計表示中は、1秒以上押すと時計調整モードに切り替わります。
⑨	数字ボタン 1 ～ 6	• ラジオでは、よく聴く放送局を登録しておくことができます。(P.23, P.24) • CDやオーディオファイルの再生中は、リピート再生など、再生方法を変更したりします。(P.17, P.18, P.27)

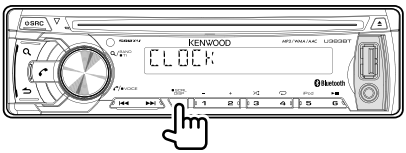
番号	名前/本書での表記	動作
⑩	AUX端子	ポータブルオーディオ機器などの外部機器を接続します。(P.13)
⑪	USB端子	USB機器/iPod/iPhoneを接続します。(P.14)
⑫	イジェクトボタン ⏏	ディスクを取り出します。イジェクトしたままディスクを取り出さないと、約15秒で自動的に引き込まれます。
⑬	ディスプレイ	時計や再生中の曲タイトルなど、本機の動作内容を表示します。
⑭	ディスク挿入口	ディスクのタイトル面を上にして差し込みます。(P.13)

時計を調整しよう

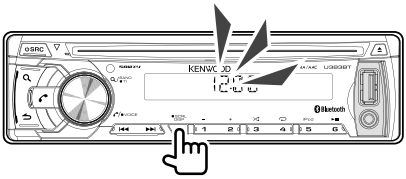
本機をご使用になる前に、時計を調整しましょう。時計は12時間制で表示されます。

1 SRC を押す
電源がオンになります。

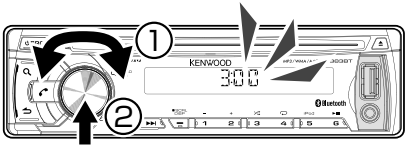
2 ディスプレイに **CLOCK** と表示されるまで、DISP を数回押す



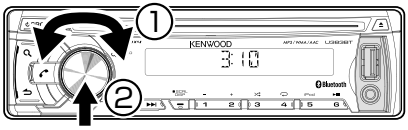
3 「時」の表示が点滅するまで、
DISP を1秒以上押す



4 ①ボリュームノブを回して「時」を調整し、
②ボリュームノブを押す



5 ①ボリュームノブを回して「分」を調整し、
②ボリュームノブを押す
時計が調整されました。



共通の操作を覚えよう

電源の入れ方や音源の切り替えなど共通の操作について説明します。

電源を入れてみよう

1 SRC を押す

本機の電源がオンになります。

SRC を1秒以上押すと、本機の電源がオフになります。

音量を調整しよう

1 オーディオ再生中にボリュームノブを回す

右に回すと音量が大きくなり、左に回すと音量が小さくなります。

音源を切り替えよう

1 聴きたい音源が表示されるまで SRC を数回押す

ディスプレイの表示は以下の音源を示しています。

STANDBY：何も再生していない状態
TUNER：ラジオ
BT AUDIO：Bluetoothオーディオ
USB：USB機器
iPod：iPod, iPhone
CD：ディスク
AUX：外部機器

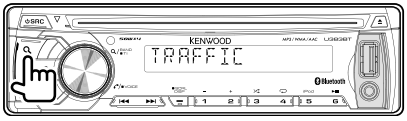
MEMO

- iPod（iPod,iPhone）はiPod/iPhoneが接続されていないと選択できません。
- CD（ディスク）はディスクが挿入されていないと選択できません。

交通情報を聴いてみよう

再生中の音源に関わらず、いつでも交通情報を聴くことができます。

1 🔍 を1秒以上押す



交通情報を受信します。

もう一度 🔍 を1秒以上押すと、交通情報の受信を中止して受信前の状態に戻ります。

♪ こんなときは…

- 交通情報の受信周波数を切り替えたい
  → ⏭ または ⏮ を押して522kHz/1620kHz/1629kHzのいずれかに合わせる。

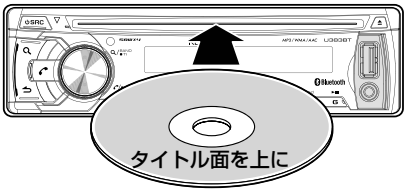
お好みの音源を聴いてみよう

本機で聴けるそれぞれの音源の基本操作について説明します。

ディスクを聴くには...

1 ディスク挿入口にディスクを水平に差し込む

差し込んだディスクが再生されます。



♪ こんなときは…

- 再生方法を変えたい → P.18
- 再生できるオーディオファイルの種類を知りたい → P.16
- ディスクを取り出したい → ⏏ を押す

ラジオを聴くには...

1 ディスプレイに **TUNER** と表示されるまで、SRC を数回押す

ラジオが受信されます。

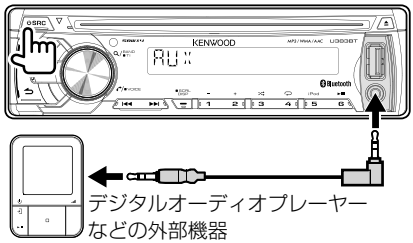
♪ こんなときは…

- バンドを変えたい → 🔍 を押す
- 登録した放送局を呼び出す → P.23, P.24

外部機器を聴くには...

接続には市販のφ3.5mmステレオミニプラグコードが必要です。

1 カバーを横に開き、AUX端子にプラグを差し込む



デジタルオーディオプレーヤーなどの外部機器

2 プラグを外部機器のヘッドホン端子に接続する

3 ディスプレイに **AUX** と表示されるまで、SRC を数回押す

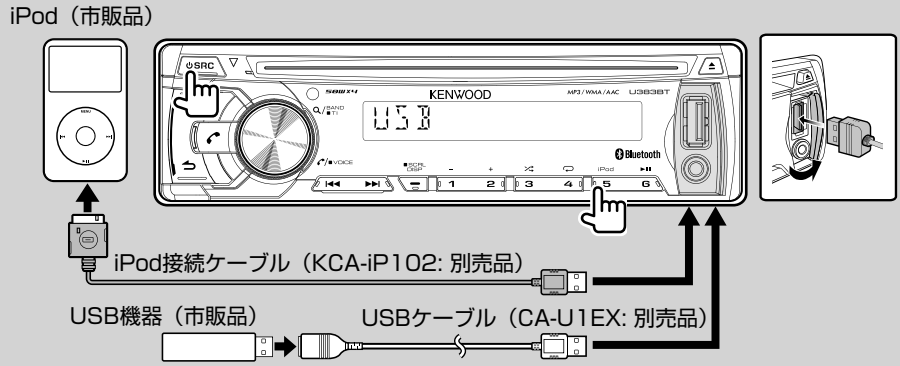
4 外部機器を再生する

外部機器が本機から再生されます。

♪ こんなときは…

- すでに接続されている外部機器を聴きたい → ディスプレイに **AUX** と表示されるまで SRC を数回押し、外部機器を再生する。

お好みの音源を聴いてみよう



USB機器を聴くには...

接続には別売のUSBケーブル（「CA-U1EX」: 最大電流500mA）を推奨します。

USB機器を接続する

1 カバーを横に開き、USB機器を接続する。

USB機器内のオーディオファイルが再生されます。

♪ こんなときは…

- 再生方法を変えたい→ P.18
- すでに接続されているUSB機器を聴きたい → ディスプレイに **USB** と表示されるまで SRC を数回押す。
- 再生できるオーディオファイルの種類を知りたい→ P.16

USB機器を取り外す

1 SRC を押して音源を **USB** 以外にする

2 USB機器を取り外す

MEMO

- USBケーブルを使わずに直接接続すると、USB機器が突起物となり危険です。
- 充電式USB機器の場合、接続中に充電されます。（本機の電源オン時のみ）

iPod/iPhoneを聴くには...

接続には別売のiPod接続ケーブル「KCA-iP102」が必要です。

iPod/iPhoneを接続する

1 カバーを横に開き、iPod/iPhoneを接続する。

iPod/iPhone内のオーディオファイルが再生されます。

♪ こんなときは…

- 再生方法を変えたい→ P.18
- すでに接続されているiPod/iPhoneを聴きたい → ディスプレイに **iPod** と表示されるまで SRC を数回押す。
- iPod/iPhone内のリストで曲を選びたい→ P.19

iPod/iPhoneを取り外す

1 SRC を押して音源を **iPod** 以外にする

2 iPod/iPhoneを取り外す

MEMO

- iPod/iPhone接続中は、iPod/iPhoneが充電されます。（本機の電源オン時のみ）

iPod/iPhoneのBluetoothオートペアリングについて

iPhone/iPod touchなどのBluetooth対応機器をiPod接続ケーブル（KCA-iP102）で接続すると、自動的に本機とBluetooth接続します。
登録する（ペアリング）については**P.29**を、オートペアリングの設定については「Bluetoothの設定を変更しよう」のAUTO PAIRING **P.41**をご覧ください。

iPod/iPhoneの操作について（App & iPod Control Mode）

iPod/iPhone再生中は、選曲などの操作を本機からのみ操作できるMODE OFFとiPod/iPhoneから操作できるMODE ONの2つのモードを切り替えることができます。
音源がiPodのときに、 5 を押すごとに、コントロールモード（APP&iPod MODE）の2つのモードが切り替わります。

MEMO

- MODE ON中でも本機から一時停止/再生/早送り/早戻し/曲のスキップを操作をすることができます

KENWOOD Music Editor Light/KENWOOD Music Controlについて

- 本機は、PCアプリケーション“KENWOOD Music Editor Light”とAndroid™アプリケーション“KENWOOD Music Control”に対応しています。
- “KENWOOD Music Editor Light”または“KENWOOD Music Control”を使用すると、オーディオファイルにデータベースを付加することで、タイトル・アルバム名・アーティスト名などでの検索が可能になります。
- “KENWOOD Music Editor Light”および“KENWOOD Music Control”は、**www2.jvckenwood.com/products/car_audio/app/**からダウンロードできます。

iPod/iPhoneについて

別売のiPod接続ケーブル「KCA-iP102」で接続します。音源選択の **USB** 表示はiPod/iPhoneを認識後に **iPod** となり、本機からの操作が可能になります。本書で断りの無い限り、「iPod」と呼んでいるのは「KCA-iP102」で接続されたiPodおよびiPhoneを指します。
本機から操作できるiPod/iPhoneは以下のとおりです。
Made for

- iPod touch (4th generation)
- iPod touch (3rd generation)
- iPod touch (2nd generation)
- iPod touch (1st generation)
- iPod classic
- iPod with video
- iPod nano (6th generation)
- iPod nano (5th generation)
- iPod nano (4th generation)
- iPod nano (3rd generation)
- iPod nano (2nd generation)
- iPod nano (1st generation)
- iPhone 4S
- iPhone 4
- iPhone 3GS
- iPhone 3G

MEMO

- iPod/iPhoneを接続すると、本機での再生はiPod/iPhoneで再生していた曲から始まります。
- iPod/iPhoneに“アクセサリが接続中”または“KENWOOD”と表示されているときは、iPod/iPhoneの操作はできません。
- 最新の適合情報に関しては、**www.kenwood.com/cs/ce/ipod/**をご覧ください。

本機で使えるメディアとオーディオファイル

本機で使用できるメディアやオーディオファイル、デバイスの種類は、下記の通りです。

ディスク種類	CD-R、CD-RW、CD-ROM
ディスクフォーマット	ISO 9660 Level 1/2, Joliet, Romeo, Long file name
オーディオファイル	AAC-LC (.m4a)、MP3 (.mp3)、WMA (.wma)
USB機器	USBマスストレージクラス
USB機器ファイルフォーマット	FAT16、FAT32
iPod/iPhone	「iPod/iPhoneについて」**(P.15)** をご覧ください

● **AAC（エーエーシー）**

正式名「Advanced Audio Coding」の略称で、デジタル放送などに使用されている画像圧縮方法の、オーディオ部分のみの圧縮規格です。

● **MP3（エムピースリー）**

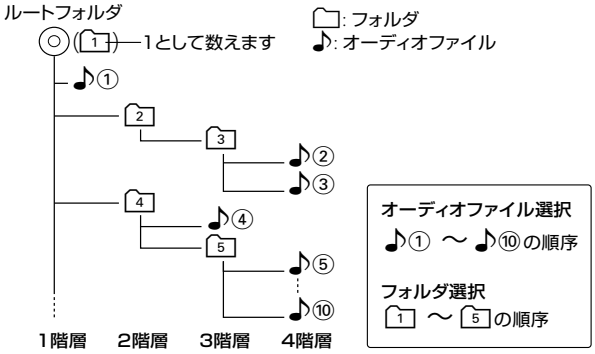
正式名「MPEG Audio Layer 3」の略称で、DVDやVideo CDなどに使用されている画像圧縮方法の、オーディオ部分のみの圧縮規格です。

● **WMA（Windows Media™ Audio）**

米国マイクロソフト社が開発した音声圧縮符号化方式「Windows Media™ Audio」の略称です。

オーディオファイルの階層と再生順序

下図の例では、オーディオファイルが①から⑩の順で再生されます。

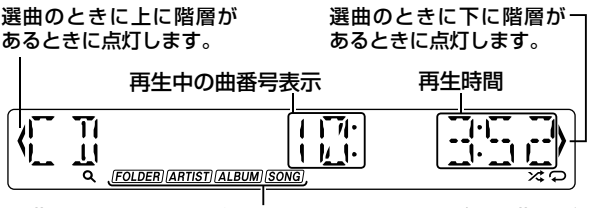


MEMO

- 上記の規格に準拠したオーディオファイルであっても、メディアおよびデバイスの種類やコンディションによっては、正常に再生されない場合があります。
- ライティングソフトがフォルダやファイルの位置を並べ替えることがあるため、希望の再生順序にならない場合があります。
- フォルダの中にオーディオファイルがなくても、一つのフォルダとして数えます。
- オーディオファイルに関するオンラインマニュアルを、**www.kenwood.com/cs/ce/audiofile**で公開しています。オンラインマニュアルには、この取扱説明書に記載されていない詳しい情報や注意事項が掲載されています。この取扱説明書とあわせて必ずお読みください。
- USBハブやマルチカードリーダを介してUSB機器を認識させることはできません。

再生中の画面表示

CD・オーディオファイル/iPod/iPhone再生中の画面表示について説明します。



選曲(ミュージックサーチ、スキップサーチ、アルファベットサーチ)のときに点灯します。(P.19, P20)

ランダム再生のときに点灯します。(P.18)

リピート再生のときに点灯します。(P.18)

情報を切り替えるときは...

- DISP を押すごとに、画面表示が以下のように切り替わります。表示内容は再生中のメディアによって異なります。

CD：

ディスク名(DISC TITLE)→トラック名(TRACK TITLE)→曲番号と再生時間(P-TIME)→時計(CLOCK)

オーディオファイル/iPod/iPhone：

曲名とアーティスト名(TITLE/ARTIST)→アルバム名とアーティスト名(ALBUM/ARTIST)→フォルダ名(FOLDER NAME)→ファイル名(FILE NAME)→ファイル番号と再生時間(P-TIME)→時計(CLOCK)

外部機器再生／ STANDBY（何の音源も選択していない状態）：

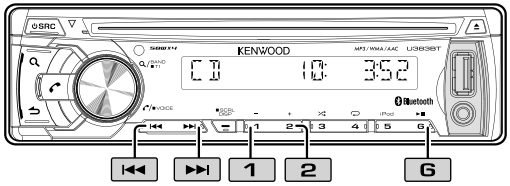
音源名(SOURCE NAME)←→時計(CLOCK)

MEMO

- メディアによっては、再生中の曲タイトルやフォルダ名などが表示される場合があります。

再生中に使うボタン

再生・停止などの操作に使用するボタンについて説明します。
曲の検索などに使用するボタンについては、次ページからの説明をご覧ください。



動作	操作
一時停止する	6 を押す
一時停止から再生する	6 を押す
早送りする	⏭ を押し続ける
早戻しする	⏮ を押し続ける
曲の先頭に戻る	⏮ を押す

動作	操作
次の曲を聴く	⏭ を押す
前の曲を聴く	⏮ を2回押す
前のフォルダに戻る	1 を押す
次のフォルダに進む	2 を押す

いろいろな機能を使って再生しよう

いつもと違う曲順で聴く（ランダム再生）

再生する曲を順不同で選び再生します。

1 3 を押す
ランダム再生が始まります。CDやフォルダ内の曲を再生します。

♪ こんなときは…
- オーディオファイル/iPod/iPhoneの全曲を順不同に再生したい
  →**ALL RANDOM** と表示されるまで、 3 を1秒以上押す。
- ランダム再生を中止する
  → 3 を押す。

MEMO
- iPod/iPhoneの再生中は、曲数によっては全曲ランダムに切り替わるまでに時間がかかることがあります。

同じ曲を繰り返し聴く（リピート再生）

再生中の曲を繰り返し再生します。

1 4 を押す
現在再生中の曲のリピート再生が始まります。

♪ こんなときは…
- オーディオファイル再生中に、そのフォルダ全体をリピートする
  →**FOLDER REPEAT** と表示されるまで、 4 を数回押す。
- リピート再生を中止する
  →**REPEAT OFF** と表示されるまで、 4 を数回押す。

MEMO
- iPod/iPhoneの再生中は、現在再生中の曲のみをリピート再生します。リピート再生をOFFにすると、選択したリスト内の全曲をリピート再生します。

聴きたい曲を名前で探す（ミュージックサーチ）

聴きたい曲を名前で探して選曲します。

1 [🔍] を押す

2 聴きたい曲を選ぶ

CDの場合

動作	操作
トラックを選ぶ	ボリュームノブを回す。
ディスク最初のトラックを選ぶ	[5] を押す。

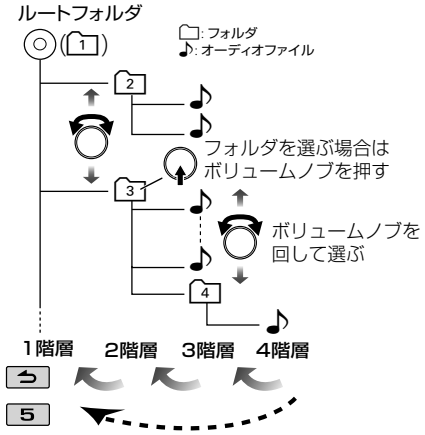
オーディオファイルの場合

動作	操作
フォルダ、ファイルを選ぶ	ボリュームノブを回す。フォルダを選ぶ場合は続けてボリュームノブを押す。
一つ上のフォルダを選ぶ	[⮌] を押す。
ルートフォルダ（1階層）を選ぶ	[5] を押す。

iPod/iPhoneの場合

動作	操作
リストを切り替える	ボリュームノブを回す。リストを選ぶ場合は続けてボリュームノブを押す。 ボリュームノブを早く回すとアルファベットサーチ（**P.20**）に切り替ります。
一つ前のリストを選ぶ	[⮌] を押す。
トップメニューを選ぶ	[5] を押す。

オーディオファイル選択例



3 ボリュームノブを押す

選んだ曲を再生します。

♪ こんなときは…

- ミュージックサーチを中止する
  → [⮌] を1秒以上押す。

MEMO

- ファイル名、フォルダ名は以下のように表示されます。
  “<○○○”：ファイル名表示
  “<○○○>”：フォルダ名表示
- iPodの場合、曲名などで表示できない文字は“ ”（空白）となります。ただし、すべての文字を表示できない場合は、選択したリスト名と数字で表示します。

項目	表示
プレイリスト	“PLIST***”
アーティスト	“ART***”
アルバム	“ALB***”
曲名やファイル名	“PRGM***”
ポッドキャスト	“PDCT***”
ジャンル	“GEN***”
コンポーザー（作曲者）	“COM***”

すばやくスクロールして探す（スキップサーチ）

iPodのリスト項目の曲数やリスト数に応じて、すばやくスクロールして曲やリストを検索します。KENWOOD Music Editor LightやKENWOOD Music Control(**P.15**)でデータベースを付加している場合は、USB機器内のオーディオファイルでも同様の操作ができます。

1 [🔍] を押す

2 [5] を押してiPod/iPhoneのトップメニューを選ぶ

3 ボリュームノブを回してリストを選び、ボリュームノブを押す

4 [⏭] を押して聴きたい曲、リストを探す

♪こんなときは…
- 前の曲、リストを探す→ [⏮] を押す。

5 ボリュームノブを押す
選んだ曲が再生されます。
リストのときはリストが選ばれます。

MEMO
- スキップする割合は、「SKIP SEARCH」設定（**P.39**）で変えられます。
- [⏮]/[⏭] を3秒以上押し続けると、設定に関係なく10%の割合で曲やリストをスキップします。例えば選択したリスト内の曲数が100曲の場合、10曲ずつスキップします。

文字を入力して曲を探す（アルファベットサーチ）iPod/iPhoneのみ

先頭の文字を1 ～ 3文字入力して、iPodのリストから該当するタイトルを探します。

1 [🔍] を押す

2 [5] を押してiPod/iPhoneのトップメニューを選ぶ

3 ボリュームノブを回してリストを選び、ボリュームノブを押す

4 [🔍] を押す

5 ボリュームノブを回して文字を選ぶ

6 [⏭] を押してカーソルを移動する
手順5 ～ 6を繰り返して、3文字まで入力できます。

7 ボリュームノブを押す
検索を開始します。
検索が完了すると、入力した文字に該当するタイトルが表示されます。

8 ボリュームノブを押す
選んだ曲が再生されます。アルバムやアーティストを検索した場合は、リストを選択します。

♪ こんなときは…

- 一つ前の文字に戻る→ ⏮ を押す。
- 検索を中止する→ ⮌ を1秒以上押す。

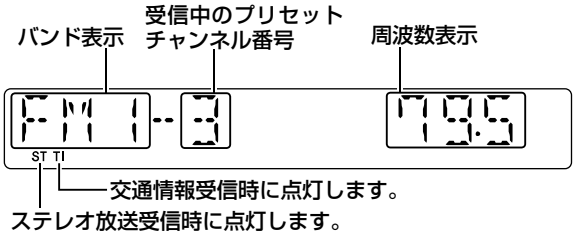
MEMO

- 入力できる文字は、A～Z、0～9、＊です。A～Z、または0～9以外の文字で始まる曲を検索したいときは「＊」を1文字目に入力します。「＊」を入力すると、2～3文字目は入力できません。
- a/an/theのような冠詞や記号、スペースは検索対象となりません。それらで始まる場合は、その後に続く文字で探します。

ラジオを聴く

ラジオ受信中の画面表示

ラジオ受信中の画面表示について説明します。



情報を切り替えるときは...

- DISP を押すごとに、画面表示が以下のように切り替わります。

  周波数表示(FREQUENCY)←→時計(CLOCK)

MEMO

- 受信状態が悪いときなど、FMステレオ放送をモノラルで受信して雑音を軽減することができます。詳しくは“MONO SET”（**P.38**）をご覧ください。

いろいろな機能を使って選局しよう

聴きたい放送局を自動で探す

1 🔍 を押して聴きたいバンドを受信する

押すたびに、FM1→ FM2→ AM1→ AM2→ FM1→…の順に切り替わります。

2 ⏭ または ⏮ を押す

受信状態の良い放送局を自動で受信します。

♪ こんなときは…

- 自動受信を中止する → ⏭ または ⏮ を押す。
- 手動で周波数を合わせたい → **P.38**を参照して“SEEK MODE”を“MANUAL”に設定し、⏭ または ⏮ を押して周波数を合わせる。

放送局を自動登録する（オートメモリー）

1 ラジオ受信中にボリュームノブを押す

2 ボリュームノブを回して **SETTINGS** と表示させ、ボリュームノブを押す

3 ボリュームノブを回して **AUTO MEMORY** と表示させ、ボリュームノブを押す

4 ボリュームノブを回して **YES** を選び、ボリュームノブを押す

受信状態の良い放送局が、数字ボタンに自動的に最大で6局分登録されます。

MEMO

- バンドごとに、6局の放送局を登録することができます。オートメモリーと手動登録は、どちらか最後に登録したものが有効になります。
- “PRESET TYPE”（**P.44**）が“MIX”に設定されているときは、オートメモリーはできません。

放送局を一つずつ登録する（手動登録）

1 お好みの放送局を受信する

2 いずれかの数字ボタン [1] ～ [6] を **STORED** と表示されるまで1秒以上押す

受信している放送局が選んだボタンに登録されます。

登録した放送局を呼び出す

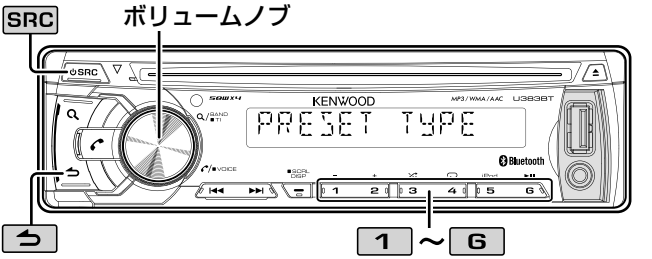
1 [🔍] を押して聴きたいバンドを受信する

2 聴きたい放送局の登録されている数字ボタン [1] ～ [6] を押す

登録されている放送局を受信します。

♪こんなときは…

- 登録された放送局を順に受信したい
  → **P.38**を参照して“SEEK MODE”を“AUTO2”に設定すると、[⏭] を押すごとに順に受信します。



お気に入りの放送局を登録してワンタッチで呼び出す（Mixed Preset Memory）

バンドを切り替えることなくAM/FM両方の放送局の登録、呼び出しができます。

初期設定を変更する

1 ディスプレイに **STANDBY** と表示されるまで、 SRC を数回押す

2 ボリュームノブを押す
ディスプレイに **FUNCTION** と表示されたあと、**SETTINGS** と表示されます。

3 ボリュームノブを回して **INITIAL SET** と表示させ、ボリュームノブを押す

4 ボリュームノブを回して **PRESET TYPE** と表示させ、ボリュームノブを押す

5 ボリュームノブを回して **MIX** と表示させ、ボリュームノブを押す

6 ⮌ を1秒以上押す

放送局を登録する

1 ディスプレイに **TUNER** と表示されるまで、 SRC を数回押す

2 登録したい放送局を受信する

3 いずれかの数字ボタン 1 ～ 6 を **STORED** と表示されるまで1秒以上押す
受信している放送局が選んだボタンに登録されます。

登録した放送局を呼び出す

1 ラジオを受信する
バンドは選択不要です。

2 聴きたい放送局が登録されている数字ボタン 1 ～ 6 を押す
登録されている放送局を受信します。

♪ こんなときは…

- 数字ボタンを、手動登録またはオートメモリーの放送局の登録ボタンに戻したい
  → “PRESET TYPE” を “NORMAL” に設定する。**(P.44)**

操作パネルを脱着する

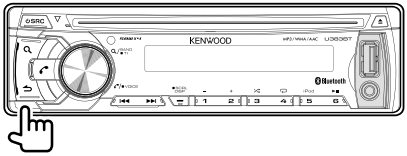
本機は、盗難防止のため、操作パネル部分を取り外すことができます。お車から離れる際は、操作パネルを本機から取り外して携帯することをおすすめします。

操作パネルを取り外す

1 SRC を1秒以上押して、電源をオフにする

2 リリースボタンを押す

パネルのロックが解除されます。パネルを上にずらしてからパネルを取り外します。



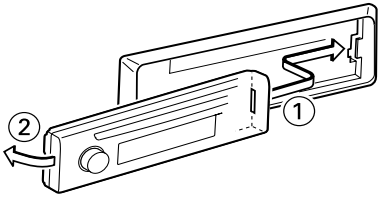
MEMO

- パネルは精密な部品のため、振動や落下などの衝撃により損傷する場合があります。取り外したパネルは、大切に保管してください。
- 取り外したパネルは、以下のような場所で保管しないでください。
  - 直射日光のあたる場所
  - 湿度が高い場所
  - ほこりが多い場所

操作パネルを取り付ける

1 パネル右側の凹部と本体右側の凸部を合わせる

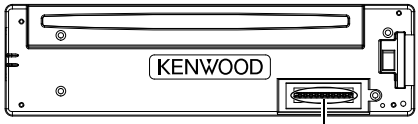
2 パネルの左側を本体に合わせて押す



パネルがロックされ、本機が使用できるようになります。

MEMO

- 操作パネルと本体間のコネクタ端子が汚れると電源が入らない、音が出ない、表示がおかしいなど故障と思われる症状になることがあります。この場合は、操作パネル側のコネクタ端子を柔らかな布で軽く拭いてください。



コネクタ端子

Bluetoothオーディオの操作をする

使用できるBluetoothオーディオ機器

本機で使用できるBluetoothオーディオ機器の仕様は、下記の通りです。

対応バージョン	Bluetooth標準規格Ver.2.1+EDR準拠
対応プロファイル	A2DP *1 (Advanced Audio Distribution Profile) AVRCP(Audio/Video Remote Control Profile)

*1 コンテンツ保護方式のSCMS-T対応。

MEMO

- A2DPはオーディオ機器の音楽を伝送するためのプロファイルです。
- AVRCPはオーディオ機器の再生や選曲などをコントロールするためのプロファイルです。
- SCMS-TとはA2DP（オーディオプレーヤー）などでセキュリティがかかったコンテンツを聴くことができる機能です。

使用を始める前に

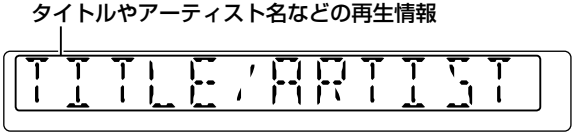
Bluetoothオーディオを使用するには、あらかじめ本機に登録しておく必要があります。詳しくは**「Bluetooth機器を登録する」(P.29)**をご覧ください。
複数のBluetoothオーディオ機器を登録している場合は、使用するBluetoothオーディオ機器を選択する必要があります。詳しくは**「接続するBluetooth機器を選択する」(P.42)**をご覧ください。
音源をBluetoothオーディオに切り替えるには、音源表示で **BT AUDIO** を選択します。操作方法は**「音源を切り替えよう」(P.12)**をご覧ください。

MEMO

- リモートコントロール（AVRCP）に対応していないBluetoothオーディオ機器は操作できません。オーディオ機器側で操作してください。
- Bluetoothオーディオ機器によって操作できない機能があります。
- 電源を切るなどBluetooth接続が切れたあと、リモートコントロールできない、または再接続できないオーディオ機器があります。オーディオ機器側でBluetooth接続の操作を行ってください。
- 「Bluetoothの設定を変更しよう」の BT HF/AUDIO **(P.41)** 設定で音声が出るスピーカーが変わります。初期設定ではフロントスピーカーのみに設定されています。

再生中の画面表示

Bluetoothオーディオ再生中の画面表示について説明します。



情報を切り替えるときは...

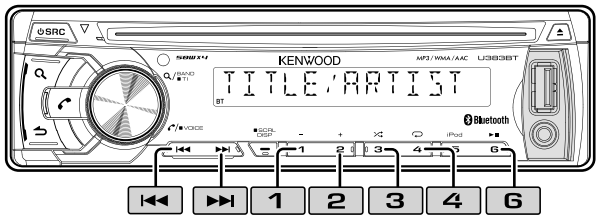
- DISP を押すごとに、画面表示が以下のように切り替わります。
  曲名とアーティスト名(TITLE/ARTIST)→アルバム名とアーティスト名(ALBUM/ARTIST)→ファイル番号と再生時間(P-TIME)→時計(CLOCK)

MEMO

- 再生情報は、AVRCP1.3に対応したBluetooth機器を接続したときのみ表示されます。

Bluetoothオーディオ再生中に使うボタン

再生・停止などの操作に使用するボタンについて説明します。



動作	操作
一時停止する	6 を押す
一時停止から再生する	6 を押す
早送りする	⏭ を押し続ける
早戻しする	⏮ を押し続ける
曲の先頭に戻る	⏮ を押す

動作	操作
次の曲を聴く	⏭ を押す
前の曲を聴く	⏮ を2回押す
前のフォルダに戻る	1 を押す
次のフォルダに進む	2 を押す

いつもと違う曲順で聴く（ランダム再生）

再生する曲を順不同で選び再生します。

1 3 を押す
ランダム再生が始まります。フォルダ内の曲を再生します。

♪ こんなときは…
- オーディオファイルの全曲を順不同に再生したい
  →**ALL RANDOM** と表示されるまで、3 を1秒以上押す。
- ランダム再生を中止する
  → 3 を押す。

MEMO
- Bluetoothオーディオ機器によってランダム再生ができないことがあります。

同じ曲を繰り返し聴く（リピート再生）

再生中の曲を繰り返し再生します。

1 4 を押す
現在再生中の曲のリピート再生が始まります。

♪ こんなときは…
- オーディオファイルの全曲を繰り返し再生したい
  →**ALL REPEAT** と表示されるまで、4 を数回押す。
- リピート再生を中止する
  →**REPEAT OFF** と表示されるまで、4 を数回押す。

使用できるBluetooth対応携帯電話

本機で使用できるBluetooth対応携帯電話の仕様は、下記の通りです。

対応バージョン	Bluetooth標準規格Ver.2.1+EDR準拠
対応プロファイル	HFP（Hands Free Profile） SPP（Serial Port Profile） OPP（Object Push Profile） PBAP（Phone Book Access Profile）

互換性を確認した携帯電話機については、下記URLをご覧ください。

http://www.kenwood.com/cs/ce/bt/

MEMO

- Bluetooth機能搭載機器は、Bluetooth SIGが定めている方法でBluetooth標準規格に適合していることの認証を取得しています。ただし、接続する機器の特性や仕様によっては通信できない場合があります。
- HFPは、ハンズフリー通話を実現するためのプロファイルです。
- SPPは、Bluetooth機器を仮想シリアルポート化するためのプロファイルです。
- OPPは、機器間で電話帳などのデータを転送するためのプロファイルです。
- PBAPは、電話帳のデータを転送するためのプロファイルです。

使用を始める前に

Bluetooth対応携帯電話を使用して本機でハンズフリー操作を行うには、あらかじめ本機に携帯電話を登録しておく必要があります。詳しくは**「Bluetooth機器を登録する」(P.29)**をご覧ください。
複数のBluetooth対応携帯電話を登録している場合は、使用する携帯電話を選択する必要があります。詳しくは**「接続するBluetooth機器を選択する」(P.42)**をご覧ください。
電話帳を利用するには、あらかじめ本機に電話帳をダウンロードする必要があります。詳しくは**「電話帳をダウンロードする」(P.32)**をご覧ください。

MEMO

- 通話中にUSB機器やiPodを接続するなど音源を切り替えると通話が切れます。
- 携帯電話が本機に接続されているときは、“BT”インジケーターが点灯します。

Bluetooth機器を登録する

登録する（ペアリング）

携帯電話を操作して本機に登録します。携帯電話の操作方法については、お使いの携帯電話の取扱説明書をご覧ください。

1 本機の電源を入れる

2 携帯電話を操作して機器登録を行う

検索した接続機器の中から“U3**BT”を選択します。本機のディスプレイに **PAIRING** →（ **PASS ******** ）※1 → 機類名称 → **PRESS** → **VOLUME KNOB** と表示されます。

3 ボリュームノブを押す

登録が始まり完了すると **PAIRING OK** と表示されます。

PINコード入力が必要な携帯電話の場合は、携帯電話を操作してPINコードを入力します。

MEMO

- ※1 表示されない機器もあります。
- 登録（ペアリング）拒否するときは、 を押します。
- PINコードは初期設定では“0000”が設定されています。
- Bluetooth設定の**「PINコードを登録する」(P.43)**でPINコードを変更することができます。

音声でiPhoneを操作する

本機にiPhoneを登録（ペアリング）すると、iPhoneのパーソナルアシスタント機能（音声認識機能）を使用して、音声でiPhoneを操作することができます。

1 iPhoneのパーソナルアシスタントを起動する

2 を1秒以上押す

音声認識モードになり、**VOICE CONTROL** と表示されます。

3 パーソナルアシスタントに話し始めます

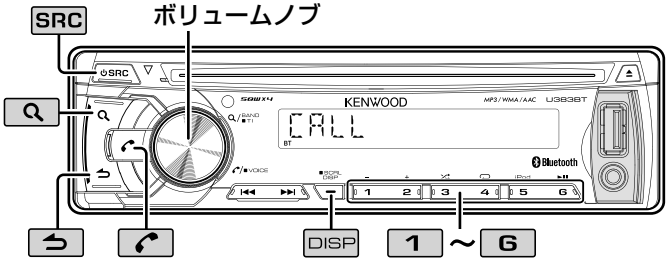
♪ こんなときは…

- パーソナルアシスタントを中止する → を1秒以上押す。

MEMO

- パーソナルアシスタント対応のiPhoneやパーソナルアシスタント機能についてはiPhoneの取扱説明書をご覧ください。
- 音声認識を行っている間は、オーディオの音は出力されません。

携帯電話を利用する



電話を受ける

1 [📞]または、ボリュームノブを押す
電話がつながり、通話できます。

MEMO
- USB機器を接続するなど、音源を切り替えると通話が切断されます。
- 電話帳に名前が登録されている場合、電話をかけた人の名前がディスプレイに表示されます。

♪ こんなときは…
- 着信を拒否する
  → [SRC]を押す。

通話を終了する

1 [📞]または、[SRC]を押す

電話をかける

1 [📞]を押す
発信モードになります。

2 ボリュームノブを回して 発信方法を選択してボリュームノブを押す

動作	操作
PHONE BOOK	電話帳を名前順に探して電話をかけます。(P.32)
CALL HISTORY	発信/着信/不在着信履歴から電話をかけます。(P.33)
NUMBER DIAL	電話番号を入力して電話をかけます。(P.31)
DVC PRIORITY	接続している携帯電話を表示します。ボリュームノブを回すと、メインとサブ表示を切り替えます。(P.34)
BT TEST MODE	Bluetooth機器が本機で登録できるか確認できます。(P.35)

以降の操作は、各モードの説明ページをご覧ください。

♪ こんなときは…
- 電話番号を登録して、簡単に電話をかける → P.32
- 音声で電話をかける → P.34
- 発信方法選択を中止する
  → [↩]を1秒以上押す。
- 発信モードを中止する
  → [📞]を押す。

電話番号を入力して電話をかける

1 [ ] を押す
発信モードになります。

2 ボリュームノブを回して **NUMBER DIAL** と表示させ、ボリュームノブを押す

3 電話番号を入力する

動作	操作
数字を選択する	ボリュームノブを回す
次の桁に移動する	[▶▶|] を押す。
最後の桁を消去する	[|◀◀] を押す。

4 ボリュームノブを押す
電話を発信します。

MEMO
- 入力できる電話番号は、32桁までです。

登録した番号に電話をかける

本機に電話番号を登録（プリセット）して、簡単に電話をかけることができます。
プリセット番号を使用するには、あらかじめ電話番号を登録する必要があります。

プリセット番号を登録する

1 登録する電話番号を入力する
入力方法について詳しくは**「電話番号を入力して電話をかける」(P.31)**、**「電話帳から電話をかける」(P.33)**、**「履歴から電話をかける」(P.33)**をご覧ください。

2 いずれかの数字ボタン [1] ～ [6] を **STORED** と表示されるまで1秒以上押す
選択したプリセット番号に電話番号が登録されます。

プリセット番号から電話をかける

1 [ ] を押す
発信モードになります。

2 電話をかけたい番号が登録されている数字ボタン [1] ～ [6] を押す
[DISP] を押すと名前、または電話番号の表示を切り替えることができます。

3 ボリュームノブを押す
電話を発信します。

電話帳を利用する

電話帳に登録されている番号に電話をかけます。電話帳を利用するには、あらかじめ携帯電話から電話帳をダウンロードする必要があります。

電話帳をダウンロードする

携帯電話に登録されている電話帳のデータを、本機にダウンロードして本機の電話帳として利用できるようにします。

●自動でダウンロードする場合

携帯電話が電話帳のシンクロ機能に対応している場合、Bluetooth対応携帯電話を接続すると自動でダウンロードします。

MEMO

- 携帯電話側の設定が必要な場合があります。
- 自動ダウンロードは機器登録した携帯電話ごとに4000件まで電話番号を登録できます。
- 1件に登録できるのは、電話番号が32桁、名前が20文字までです。(文字数は1バイトの場合です。文字種により少なくなります。)
- **COMPLETE** と表示されても電話帳にデータがない場合、お使いの携帯電話は自動ダウンロードに対応していません。手動でダウンロードしてください。

●携帯電話から手動でダウンロードする場合

1 [ ] を押す
発信モードになります。

2 ボリュームノブを回して **SETTINGS** と表示させ、ボリュームノブを押す

3 ボリュームノブを回して **TRANSFER PB** と表示させ、ボリュームノブを押す
ディスプレイに **DL PB ***** と表示されます。

4 携帯電話を操作して電話帳を送信する

5 ダウンロードが完了したらボリュームノブを押す

MEMO

- 手動ダウンロードは400件まで電話番号を登録できます。
- 1件に登録できるのは、電話番号が32桁、名前が20文字までです。(文字数は1バイトの場合です。文字種により少なくなります。)
- 電話帳のダウンロードを途中で中止するには、携帯電話側で中止してください。

電話帳から電話をかける

1 [📞]を押す
発信モードになります。

2 ボリュームノブを回して
PHONE BOOK と表示させ、
ボリュームノブを押す

3 [🔍]を押す

4 ボリュームノブを回して文字を選び
ボリュームノブを押す

MEMO
- [⏭]または[⏮]を押すと、行を切り替えます。

5 ボリュームノブを回して名前を選び
ボリュームノブを押す

6 ボリュームノブを回して電話番号を
選ぶ

表示	内容
GE (General)	一般
HM (Home)	自宅
MO (Mobile)	携帯
OF (Office)	会社
OT (Other)	その他

7 ボリュームノブを押す
電話を発信します。

♪こんなときは…
- **DB PB MODE** と表示される
→ 電話帳をダウンロードします。
①携帯電話を操作して電話帳を送信する
②ダウンロードが完了すると電話帳の操作に戻ります
- 電話帳を削除する
→手動でダウンロードした場合は、登録を削除することができます。
①手順5、6の名前を選んだところで、ボリュームノブを1秒以上押す
②ボリュームノブを回して
DELETE ONE（1件削除）
または**DELETE ALL**（全削除）
と表示させ、ボリュームノブを押す
③ボリュームノブを回して **YES** を選択して、ボリュームノブを押す
④ **COMPLETE** と表示されたら、ボリュームノブを押すと、電話帳の操作に戻ります

履歴から電話をかける

発信、着信、不在着信履歴で電話をかけます。

1 [📞]を押す
発信モードになります。

2 ボリュームノブを回して
CALL HISTORY と表示させ、
ボリュームノブを押す

3 名前または電話番号を選択する
[DISP]を押すと、名前と電話番号の表示を切り替えることができます。

表示	内容
O (Outgoing call)	発信履歴
I (Incoming call)	着信履歴
M (Missed call)	不在着信履歴

4 ボリュームノブを押す
電話を発信します。

MEMO
- 電話帳を自動でダウンロードできない携帯電話の場合、発信履歴、着信履歴、および不在着信履歴は、本機で発信および着信した履歴になります。

音声で携帯電話を操作する

携帯電話の音声認識機能を使用して、音声で携帯電話を操作することができます。

1 [📞]を1秒以上押す
音声認識モードになり、
VOICE CONTROL と表示されます。

2 音声で携帯電話を操作します。

♪ こんなときは…
- 音声認識を中止する
  → [📞]を1秒以上押す。

📖 MEMO
- 携帯電話の音声認識機能については、携帯電話の取扱説明書をご覧ください。
- 携帯電話が音声認識に対応していない場合は、**NO SUPPORT** と表示します。
- 携帯電話で音声認識を開始できない場合は、**N/A VOICE TAG** と表示します。
- 音声認識を行っている間は、オーディオの音は出力されません。

携帯電話を切り替える

本機は携帯電話を2台同時に接続することができます。発信できるのはメインに設定した携帯電話のみのため、サブに設定した携帯電話で発信するときは本機の設定を切り替えます。

1 [📞]を押す
発信モードになります。

2 [📞]を1秒以上押す

📖 MEMO
- 通話中にもう一方の携帯電話に着信があった場合は、現在の通話を終了しないと、もう一方の着信に出ることができません。
- メインに設定した携帯電話が車外に出て接続が切れると、サブに設定している携帯電話が接続状態の場合は、メインに切り替わります。接続が切れた携帯電話が車内に戻ってくるとサブとして接続されます。

Bluetooth機器の登録をテストする

Bluetooth機器が本機で登録できるか確認できます。Bluetooth機器の操作方法については、お使いのBluetooth機器の取扱説明書をご覧ください。

1 [↩]を押す
発信モードになります。

2 ボリュームノブを回して **BT TEST MODE** と表示させ、ボリュームノブを押す
PLEASE PAIR YOUR PHONE と表示されます。

3 Bluetooth機器を操作して機器登録を行う
検索した接続機器の中から“U3**BT”を選択します。
本機のディスプレイに、機類名称 → **PRESS** → **VOLUME KNOB** と表示されます。

4 ボリュームノブを押す
登録が始まり完了すると **PAIRING OK** と表示されます。
PINコード入力が必要なBluetooth機器の場合は、Bluetooth機器を操作してPINコードを入力します。

MEMO

- 登録（ペアリング）拒否するときは、[⮌]を押します。
- PINコードは初期設定では“0000”が設定されています。
- Bluetooth設定の**「PINコードを登録する」(P.43)**でPINコードを変更することができます。

5 テストが完了すると、接続結果が表示されます

表示	内容
PAIRING	本機への登録
HF CNT	ハンズフリー接続
AUD CNT	オーディオ接続
PB DL	電話帳の自動ダウンロード

6 [↩]を押して終了する

MEMO

- 接続を確認した携帯電話の電話帳などのデータは本機に残りません。

いろいろな操作

動作		操作
通話中	通話中の音量を調整する※1	ボリュームノブを回す
	プライベート通話に切り替える※2	[G]を押す

※1 ここで受話音量を調整すると、次回の通話でも同じ音量になります。
受話音量を大きくすると、エコーが発生しやすくなります。エコーは受話音量に比例して大きくなるので、エコーが発生したときは音量をなるべく小さくしてください。

※2 [G]を押すごとに、プライベート通話（携帯電話での操作）と本機でのハンズフリー操作が切り替わります。携帯電話によってはプライベート通話に切り替えるとハンズフリー接続の前に聞いていた音源に戻ることがあります。その場合は、本機ではハンズフリー通話に戻すことができません。携帯電話側を操作してハンズフリー通話に切り替えてください。

お好みの音質に調整しよう

音響効果などを設定します。

1 いずれかの音源を再生中に、ボリュームノブを押す

ディスプレイに **FUNCTION** と表示されたあと、**AUDIO CONTROL** と表示されます。

2 もう一度ボリュームノブを押す

3 ボリュームノブを回して設定する項目を選び、ボリュームノブを押す

各項目の詳細な設定内容については、以下の表をご覧ください。

太字で記された設定値は、初期設定値を示しています。

MEMO

- **EQ PRO**、**DETAILED SET** を選んだ場合は、ボリュームノブを回してさらに詳細な設定項目を選びます。
- 設定操作中に、 ⮌ を押すと一つ前の項目に戻ります。

表示			設定内容	設定値
SUB-W LEVEL※1			サブウーファーの音量を調整します。	−15～**0**～+15
BASS LEVEL			低音域の音量を調整します。	−8～**0**～+8
MID LEVEL			中音域の音量を調整します。	−8～**0**～+8
TRE LEVEL			高音域の音量を調整します。	−8～**0**～+8
EQ PRO	BASS ADJUST	BASS CTR FRQ	調整する低音域の中心周波数を設定します。	60/80/**100**/200 (Hz)
		BASS LEVEL	低音域の音量を調整します。	−8～**0**～+8 (dB)
		BASS Q FACTOR	低音クオリティーファクターを設定します。	**1.00**/1.25/1.50/2.00
		BASS EXTEND	低音中心周波数の伸張設定のON/OFFを設定します。	**OFF**/ON
	MID ADJUST	MID CTR FRQ	調整する中音域の中心周波数を設定します。	0.5/**1.0**/1.5/2.5 (kHz)
		MID LEVEL	中音域の音量を調整します。	−8～**0**～+8 (dB)
		MID Q FACTOR	中音クオリティーファクターを設定します。	0.75/**1.00**/1.25
	TRE ADJUST	TRE CTR FRQ	調整する高音域の中心周波数を設定します。	10.0/**12.5**/15.0/17.5 (kHz)
		TRE LEVEL	高音域の音量を調整します。	−8～**0**～+8 (dB)

表示		設定内容	設定値
dB EQ		音楽に合わせてあらかじめ設定された音質を選択します。BASS/MID/TRE ADJUSTを調整すると「USER」設定になります。設定するとEQと表示します。	**NATURAL**/USER/ROCK/VOCAL/EASY/DANCE/JAZZ/POWERFUL
BASS BOOST		低音を増強するレベルを設定します。設定するとBBと表示します。	**OFF**/LV1/LV2/LV3
LOUDNESS		小さな音量で音楽を聴くときに不足しがちな低域と高域の音量を補正します。設定するとLOUDと表示します。	OFF/**LV1**/LV2
BALANCE		左右の音量バランスを調整します。	L15～**0**～R15
FADER		前後の音量バランスを調整します。	F15～**0**～R15
SUBWOOFER SET※2		サブウーファー出力のON/OFFを切り替えます。	**ON**/OFF
DETAILED SET	HPF	ハイパスフィルターのカットオフ周波数を設定します。	**THROUGH**/ 100HZ/120HZ/150HZ
	LPF SUBWOOFER※1	ローパスフィルターのカットオフ周波数を設定します。	85HZ/120HZ/160HZ/**THROUGH**
	SUB-W PHASE※1 ※3	サブウーファーの位相を設定します。 NORMAL：正相（0°）/REVERSE：逆相（180°）	**NORMAL**/REVERSE
	SUPREME SET	Supreme機能のON/OFFを設定します。圧縮オーディオファイル再生時のみ設定できます。	**ON**/OFF
	NAV GUIDE	接続されているナビの音声ガイド時のミュート設定をします。 ATT：ナビ音声ガイド時にオーディオの音が小さくなります。	**OFF**/ATT
	VOLUME OFFSET	音源ごとの音量差を調整します。音源を切り替えても、ほぼ同じ音量で聴くことができます。	AUX：−8～**0**～+8 その他：−8～**0**

※1 “SWITCH PREOUT”（Switchable Preout）設定 **(P.45)** が“SUB-W”（サブウーファー）に設定され、かつ“SUBWOOFER SET”設定 **(P.37)** が“ON”に設定されているときに設定できます。
※2 “SWITCH PREOUT”（Switchable Preout）設定 **(P.45)** が“SUB-W”（サブウーファー）に設定されているときに設定できます。
※3 “LPF SUBWOOFER”設定 **(P.37)** が“THROUGH”以外のときに設定できます。

4 ボリュームノブを回して設定値を選び、ボリュームノブを押す

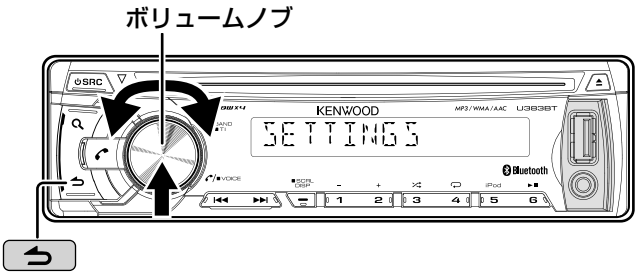
5 [↩] を1秒以上押して終了する

MEMO

- dB EQ、BASS/MID/TRE ADJUSTは、ソースごとに設定できます。
- dB EQ設定中は、[⏮]/[⏭] を押して、効果のHIGH/LOWを切り替えることができます。ただし、“NATURAL”、“USER”に設定しているときは調整できません。
- Supreme（サプリーム）機能とは、低いビットレート（128Kbps以下、サンプリング周波数は44.1kHz）でエンコードしたときに欠落した高音域を、独自のアルゴリズムにより推定・補間する技術です。補間は圧縮フォーマット別に最適化され、ビットレートに合わせて処理されます。高いビットレートでエンコードされている曲や可変ビットレートでエンコードされている曲、高域の音が少ない曲では効果が現れにくい場合があります。
- 「NAV GUIDE」機能を使用する場合は、本機とナビゲーションシステムのラインミュート端子またはミュート端子を接続してください **(P.53)**。ケンウッド製カーナビゲーションに接続して使用する場合は、ナビゲーションシステムの「オーディオATT」または「オーディオ接続設定」機能をオンに設定してください。

音源ごとに設定を変更しよう

音源ごとに用意されている機能の設定を変更することができます。



1 設定を変更する音源を再生中に、ボリュームノブを押す

ディスプレイに **FUNCTION** と表示されたあと、**AUDIO CONTROL** と表示されます。

2 ボリュームノブを回して **SETTINGS** と表示させ、ボリュームノブを押す

3 ボリュームノブを回して設定する項目を選び、ボリュームノブを押す

各項目の詳細な設定内容については、以下の表をご覧ください。
太字で記された設定値は、初期設定値を示しています。

MEMO

- **DISPLAY** を選んだ場合は、ボリュームノブを回してさらに詳細な設定項目を選びます。
- 設定操作中に、 を押すと一つ前の項目に戻ります。

音源	表示	設定内容	設定値
ラジオ	SEEK MODE	放送局の探しかたを設定します。 AUTO1： 放送局を自動的に受信します。 AUTO2： 登録されている放送局を順番に受信します。 MANUAL：1ステップずつ周波数が変わります。	**AUTO1**/ AUTO2/ MANUAL
	AUTO MEMORY	設定をYESにすると受信状態の良い放送局を自動的に登録します。“PRESET TYPE”（PRESETキー機能切り替え）設定 **(P.44)** が“NORMAL”に設定されているときに設定できます。	YES/NO
	MONO SET	FMステレオ放送をモノラルで受信します。 受信状態の悪いFM放送局を聴いているときに設定をONにすると、雑音が軽減されて聴きやすくなることがあります。	ON/**OFF**

音源	表示		設定内容	設定値
iPod	SKIP SEARCH※1		曲やリストを探すときのスキップする割合を設定します。**(P.20)**	**0.5%**/1%/5%/10%
USB	SKIP SEARCH※1		KENWOOD Music Editor LightやKENWOOD Music Controlでデータを付加している場合に、曲やリストを探すときのスキップする割合を設定します。**(P.20)**	**0.5%**/1%/5%/10%
AUX	AUX NAME SET		ソースをAUXに切り替えたときに表示される名前を設定します。	**AUX**/DVD/PORTABLE/GAME/VIDEO/TV
すべての音源	CLOCK	CLOCK ADJUST	本機の時計を合わせます。**(P.11)**	–
	DISPLAY	DISP DIMMER	ディスプレイの明るさを設定します。 “ON”にすると暗くなります。	ON/**OFF**
		TEXT SCROLL	ディスプレイに表示される文字が多い場合、文字をスクロールして表示させます。 AUTO： スクロールを繰り返し行います。 ONCE： 表示が変わったときに1回スクロールします。 OFF： 自動ではスクロール表示をしません。	**AUTO**/ONCE/OFF
		BT DVC STATUS	Bluetooth機器の接続状態、電界強度、バッテリーレベルを表示します。 HF-CON：携帯電話の接続状態。 AD-CON：オーディオ機器の接続状態。 BATT： 携帯電話のバッテリーレベル。 SIGNAL：携帯電話の電界強度。	–

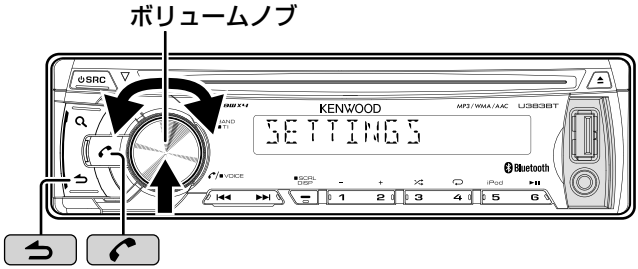
※1 スキップする曲数、リスト数は選択しているリスト内の総数で決まります。10%に設定するとスキップする曲数、リスト数が多くなるので、後の方の曲、リストをすばやく探すことができます。

4 ボリュームノブを回して設定値を選び、ボリュームノブを押す

5 [⮌] を1秒以上押して終了する

Bluetoothの設定を変更しよう

ハンズフリーやBluetoothオーディオなど、Bluetoothに関する設定をします。



1 [↩]を押す

発信モードになります。

2 ボリュームノブを回して **SETTINGS** と表示させ、ボリュームノブを押す

3 ボリュームノブを回して設定する項目を選び、ボリュームノブを押す

各項目の詳細な設定内容については、以下の表をご覧ください。ハンズフリー選択時とBluetoothオーディオ選択時では、表示される項目が異なります。

太字で記された設定値は、初期設定値を示しています。

MEMO

・設定操作中に、[⮌]を押すと一つ前の項目に戻ります。

表示		設定内容	設定値
PAIRING	PHONE SELECT	登録してある複数のBluetooth機器から、使用するデバイスを選択します。**(P.42)**	–
	AUDIO SELECT		
	DEVICE DELETE	登録済みのBluetooth機器を削除します。**(P.42)**	–
TRANSFER PB※1		携帯電話から手動で電話帳をダウンロードするモードです。**(P.32)**	–
DETAILED SET	PIN CODE EDIT	Bluetooth機器側から登録（ペアリング）する際に必要なPINコードを設定します。**(P.43)**	–
	AUTO ANSWER※2	着信コールの経過時間で自動的に電話を受ける（応答）機能です。 OFF：　自動着信しません。 1s～99s：1秒から99秒で自動着信します。	OFF/ 1s～**8s**～ 99s

表示		設定内容	設定値
	RECONNECT	Bluetoothの接続が切れても、電波状態が良くなると自動で再接続する機能です。 OFF： 再接続しません。 ON： 再接続します。	OFF/**ON**
	AUTO PAIRING※3	この機能をONにして、iPhone/iPod touchなどのBluetooth対応機器をiPod接続ケーブル（KCA-iP102）で接続すると、自動的に本機とBluetooth接続します。 iPod接続ケーブル(KCA-iP102)でiPhone/iPod touchを接続して、Bluetooth接続しないときは、OFFに設定してください。	OFF/**ON**
	BT HF/AUDIO	Bluetoothオーディオおよび受話音声を出力するスピーカーを設定します。 FRONT：フロントの左右のスピーカーから出力します。 ALL： フロントおよびリアの左右のスピーカーから出力します。	**FRONT**/ALL
	CALL BEEP	この機能をONにすると、携帯電話に着信があった場合にスピーカーからビープ音を鳴らして着信を知らせます。	OFF/**ON**
	BT F/W UPDATE※4	以下の手順でBluetoothのファームウェアをアップデートします。 アップデートに関する情報は、**www.kenwood.com/cs/ce/bt/**をご覧ください。 ①ボリュームノブを押して、ファームウェアバージョン（BT F/W UP **:**）を表示させ、ボリュームノブを押します。 ②ボリュームノブを回して、**YES** と表示させ、ボリュームノブを押すとアップデートファイルの検出が始まります。	YES/NO
	MIC GAIN	通話時のマイクの音量を調整します。	−20～**0**～+8
	EC LEVEL	通話時のノイズやエコーを減少します。	1～**4**～10

※1 対応している携帯電話のみ表示されます。
※2 携帯電話の自動着信設定を本機の設定より早い時間にしていると、携帯電話の設定が優先されます。
※3 AUTO PAIRINGするときは、あらかじめ接続する機器のBluetooth機能をONに設定しておきます。
※4 ファームウェアのアップデート方法は、下記ホームページをご覧ください。
http://www.kenwood.com/cs/ce/bt

4 ボリュームノブを回して設定値を選び、ボリュームノブを押す

5 [↩] を1秒以上押して終了する

MEMO

• 発信モードを終了するときは、[📞] を押す。

接続するBluetooth機器を選択する

登録してある複数のBluetooth機器から、使用する機器を選択します。

1 [📞]を押す
発信モードになります。

2 ボリュームノブを回して **SETTINGS** と表示させ、ボリュームノブを押す

3 ボリュームノブを回して **PAIRING** と表示させ、ボリュームノブを押す

4 ボリュームノブを回して **PHONE SELECT** 、または **AUDIO SELECT** と表示させ、ボリュームノブを押す
機器名が表示されます。

MEMO
- ハンズフリーを利用する場合は **PHONE SELECT** を、Bluetoothオーディオを利用する場合は **AUDIO SELECT** を選択します。

5 ボリュームノブを回して使用する機器を表示させ、ボリュームノブを押す
ボリュームノブを押すたびに接続状態が変わります。

表示	内容
*	接続中
–	接続待機中
（空白）	接続解除

MEMO
- すでに携帯電話が2台、またはオーディオプレーヤーが1台選択されている場合は、既存の選択を解除してから新しいBluetooth機器を選択してください。

6 [↩]を1秒以上押して終了する

Bluetooth機器の登録を削除する

登録済みのBluetooth機器を削除します。

1 [📞]を押す
発信モードになります。

2 ボリュームノブを回して **SETTINGS** と表示させ、ボリュームノブを押す

3 ボリュームノブを回して **PAIRING** と表示させ、ボリュームノブを押す

4 ボリュームノブを回して **DEVICE DELETE** と表示させ、ボリュームノブを押す
機器名が表示されます。

5 ボリュームノブを回して削除する機器を表示させ、ボリュームノブを押す

6 ボリュームノブを回して **YES** を選択して、ボリュームノブを押す
COMPLETE と表示され、Bluetooth機器の登録が削除されます。

7 [↩]を1秒以上押して終了する

MEMO
- 携帯電話の登録を削除すると、電話帳、および履歴のデータも削除されます。

PINコードを登録する

1 [↩]を押す
発信モードになります。

2 ボリュームノブを回して
SETTINGS と表示させ、
ボリュームノブを押す

3 ボリュームノブを回して
DETAILED SET と表示させ、
ボリュームノブを押す

4 ボリュームノブを回して
PIN CODE EDIT と表示させ、
ボリュームノブを押す

5 PINコードを入力する

動作	操作
数字を選択する	ボリュームノブを回す
次の桁に移動する	[▶▶|]を押す。
最後の桁を消去する	[|◀◀]を押す。

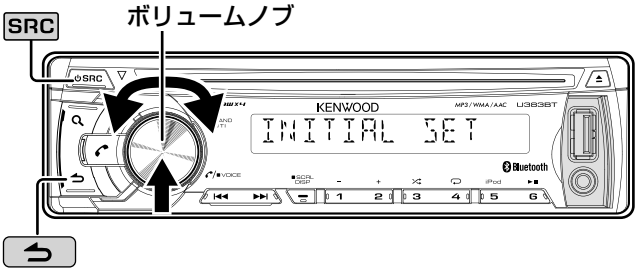
6 ボリュームノブを1秒以上押す
COMPLETE と表示され、PINコードが登録されます。

7 [↩]を1秒以上押して終了する

MEMO
- 初期設定は“0000”に設定されています。
- 設定できるPINコードは8桁までの数字です。

初期設定を変更しよう

操作時の音に関する設定や、CDの読み込み方法に関する設定などを行います。



1 SRC を数回押して **STANDBY** と表示させ、ボリュームノブを押す

2 ボリュームノブを回して **INITIAL SET** と表示させ、ボリュームノブを押す

3 ボリュームノブを回して設定する項目を選び、ボリュームノブを押す

各項目の詳細な設定内容については、以下の表をご覧ください。
太字で記された設定値は、初期設定値を示しています。

MEMO

・設定操作中に、 ⮌ を押すと一つ前の項目に戻ります。

表示	設定内容	設定値
PRESET TYPE	登録した放送局を呼び出すボタンを設定します。 NORMAL： 通常の放送局の登録ボタンになります。 MIX（Mixed Preset Memory）：AM/FMの区別なく登録された放送局の登録ボタンになります。	**NORMAL**/MIX
KEY BEEP	操作時のビープ音を設定します。	**ON**/OFF
BUILT-IN AUX	音源選択時にAUXが表示されます。 ON： AUX音源に切り替えたときに、内蔵AUX端子に接続した外部機器の音声が出力されます。 OFF：内蔵AUX端子を使用しないときに選択します。	**ON**/OFF
CD READ	CDの読み込み方法を設定します。 特殊なフォーマットのCDを再生中、正常に再生できない場合に強制的に再生させる機能です。ただし音楽CDによっては再生できない場合もあります。 1： 通常はこちらでご使用ください。 2： 音楽CDとして強制的に再生します。オーディオファイルの再生はできなくなります。	**1**/2

表示	設定内容	設定値
SWITCH PREOUT	プリアウトをリア用出力（REAR）、またはサブウーファー用出力（SUB-W）に切り替えます。	**REAR**/ SUB-W
F/W UPDATE	以下の手順でファームウェアをアップデートします。 アップデートに関する情報は、**www.kenwood.jp/faq/**をご覧ください。 ①ボリュームノブを押して、ファームウェアバージョン（F/W UP **:**）を表示させ、ボリュームノブを押します。 ②ボリュームノブを回して、**YES** と表示させ、ボリュームノブを押すとアップデートファイルの検出が始まります。	YES/NO

4 ボリュームノブを回して設定値を選び、ボリュームノブを押す

5 [⮌] を1秒以上押して終了する

故障かな?と思ったら

症状	原因	処置
電源が入らない 音が出ない 表示がおかしい	操作パネルと本体間のコネクタ端子が汚れて接触不良している。	**「操作パネルを脱着する」(P.25)** を参照して、操作パネル側のコネクタ端子を柔らかな布で軽く拭いてください。
操作ボタンを押しても動作しない	システムに異常が発生している。	本機の**リセットボタン（P.7）**を押してください。
ラジオの感度が悪い	自動車のアンテナが伸びていない。	アンテナを十分に伸ばしてください。
FMは受信するが、AMは受信しない	アンテナコントロール電源が接続されていない。	**「配線をしましょう」(P.52)** を参照して、正しく接続し直してください。
ディスクが取り出せない	ディスクが排出の途中で止まっている。	ディスクが完全に排出されるまでイジェクトボタンを押し続けてください。
CDやオーディオファイルを再生できない	ディスクが異常に汚れている。	**「お気をつけください」(P.8)** を参照して、ディスクをクリーニングしてください。
オーディオファイル再生中に音飛びする	ディスクに傷や汚れがある。	**「お気をつけください」(P.8)** を参照して、ディスクをクリーニングしてください。
	ディスク作成時に問題があった。	ディスクを作成し直すか、ほかのディスクを使用してください。
フォルダ検索をすると雑音が出る	オーディオファイルが入っていないフォルダが連続して存在すると雑音が出る場合があります。	オーディオファイルが入っていないフォルダは作成しないでください。
電話帳が自動でダウンロードできない	お使いの携帯電話は自動ダウンロードに対応していません。	**「電話帳を利用する」(P.32)** を参照して、手動で電話帳をダウンロードしてください。
ハンズフリー通話の受話音声が小さい	ハンズフリー通話用の音量が小さくなっている。	ハンズフリー通話用のボリュームは独立しています。**「いろいろな操作」(P.35)** でハンズフリー通話中に音量を調節してください。 **「Bluetoothの設定を変更しよう」(P.40)** を参照して、[MIC GAIN]を設定してください。
着信時に携帯電話の呼び出し音が鳴らない	携帯電話によっては着信音が鳴らない場合があります。	**「Bluetoothの設定を変更しよう」(P.40)** を参照して、[CALL BEEP]を設定してください。
Bluetoothオーディオプレーヤーが登録（ペアリング）できない	PINコードが固定されている。	Bluetoothオーディオプレーヤーの説明書にPINコードが記載されている場合は、**「PINコードを登録する」(P.43)** で設定してから登録してください。または、PINコードの指定がない場合は“0000”を試してください。
Bluetoothオーディオプレーヤーの音声が途切れる	本機とオーディオプレーヤーの距離が離れている。	オーディオプレーヤーを本機に近づけてください。
	他のBluetooth機器が通信を妨げている。	他のBluetooth機器の電源を切るかBluetooth機器を遠ざけてください。
	他のBluetooth機器、または他のプロファイルで通信を行っている。	電話帳のダウンロードを行うと音声が途切れることがあります。

こんなメッセージが表示されたら...

操作ができない場合のメッセージです。以下の処置にしたがって対応してください。

メッセージ	原因	処置
COPY PRO	再生しようとしたオーディオファイルは、コピープロテクトされています。	ファイルのコピープロテクトを解除してください。
NA FILE	サポートされていないフォーマットのオーディオファイルを再生しようとしました。	**「本機で使えるメディアとオーディオファイル」(P.16)** を参照して、本機でサポートされているフォーマットのオーディオファイルをご使用ください。
NO DISC	本機にディスクが入っていない。	ディスクを入れてください。
READ ERROR	接続しているUSB機器のファイルシステムが破損している。	USB機器のファイル、フォルダをコピーし直してください。それでもエラー表示が消えない場合は、USB機器をフォーマットするか、他のUSB機器を使用してください。
TOC ERROR	ディスクが異常に汚れています。	**「お気をつけください」(P.8)** を参照して、ディスクをクリーニングしてください。
	ディスクに傷が多く付いています。	傷のあるディスクはご使用にならないでください。
	ディスクが裏返しになっています。	ディスクを正しい向きで挿入し直してください。
HF ERROR 07	メモリーにアクセスできないとき。	本機の電源をオフ/オンします。表示が出続ける場合は本機の**リセットボタン（P.7）**を押してください。
HF ERROR 68	携帯電話と通信できないとき。	本機の電源をオフ/オンします。表示が出続ける場合は本機の**リセットボタン（P.7）**を押してください。
UNKNOWN	Bluetooth機器を検出できません。	場所を移動してから Bluetooth機器の検索を行ってください。
NO ACTIVE DVC	携帯電話を接続していません。	携帯電話を接続してから、音声認識を開始してください。

本機のシステムに不具合があるときや操作が受け付けられないときのメッセージです。
以下の処置にしたがって対応してください。処置を施してもエラーメッセージが表示される場合は、お買上げの販売店またはケンウッドサービスセンターへご相談ください。

メッセージ	原因	処置
PLEASE EJECT	何らかの原因で正常に動作していない。	イジェクトボタンを押してください。 それでも表示が消えないときは本機の**リセットボタン（P.7）**を押してください。
iPod ERROR	iPod/iPhoneとの接続に不具合が発生しています。	**「iPod/iPhoneについて」（P.15）**を参照して、接続しているiPod/iPhoneが本機で使える機種かどうか確認してください。
		iPod/iPhoneをiPod接続ケーブルから取り外し、接続し直してください。
		iPod/iPhoneを本機から取り外し、iPod/iPhoneのリセットを行ったあと、再度本機に接続してください。iPod/iPhoneのリセット方法についてはiPod/iPhoneの取扱説明書「ヒントとトラブルシューティング」をご参照ください。
NA DEVICE	サポートされていないUSB機器/iPod/iPhoneを接続した。	接続したUSB機器/iPod/iPhoneがサポートされているか確認してください。サポートされているUSB機器/iPod/iPhoneについては、**「本機で使えるメディアとオーディオファイル」（P.16）**を参照してください。それでも表示が消えない場合は、いったんUSB機器/iPod/iPhoneを取り外し、再び接続してください。
	USB機器/iPod/iPhoneの接続に失敗しました。	
NO DEVICE	USB機器/iPod/iPhoneが接続されていないときに、音源をUSB/iPodに切り替えた。	USB/iPod以外の音源に変えてください。その後、USB機器/iPodを接続し、再度音源をUSB/iPodにしてください。
NO MUSIC	接続されているUSB機器/iPod/iPhoneには、再生できるフォーマットのオーディオファイルがありません。	再生可能なフォーマットのオーディオファイルが入ったUSB機器/iPod/iPhoneを接続してください。
PROTECT	スピーカーコードがショートまたは車両のシャーシに接触したために、保護回路が働きました。	スピーカーコードを適切に配線/絶縁し直してから、本機の**リセットボタン（P.7）**を押してください。
READING	ディスクに収録されているデータのチェック中です。	チェックが終われば正常に作動します。

メッセージ	原因	処置
CONNECT NG	Bluetooth機器に接続できません。	接続を確認してください。
DEVICE FULL	すでにBluetooth機器が5台登録されておりこれ以上登録できません。	**「Bluetooth機器の登録を削除する」(P.42)**を参照して、機器を削除してください。
HF ERROR 89	Bluetoothのファームウェアアップデートに失敗しました。	もう一度、Bluetoothファームウェアをアップデートしてください。
NO DATA	発信履歴、着信履歴、不在着信履歴がありません。	履歴があればエラーメッセージは表示されません。
	電話帳にデータがありません。	**「電話帳をダウンロードする」(P.32)**を参照して、電話帳のデータを本機にダウンロードしてください。
NO ENTRY	携帯電話を機器登録（ペアリング）していません。	**「登録する（ペアリング）」(P.29)**を参照して、携帯電話を登録してください。
NO NUMBER	電話番号の通知がない着信時に表示します。	電話番号の通知がある着信時は、エラーメッセージは表示されません。
	電話番号のデータがない時に表示します。	電話番号のデータがある時は、エラーメッセージは表示されません。
NO SUPPORT	携帯電話が音声認識に対応していません。	音声認識に対応している携帯電話を使用してください。
	手動での電話帳のダウンロードに対応していません。	電話帳のダウンロードに対応している携帯電話を使用してください。
N/A VOICE TAG	音声認識を開始できません。	携帯電話の音声認識機能が動作していません。携帯電話を確認してください。
PIN CODE NG	PINコードが違います。	**「使用できるBluetoothオーディオ機器」(P.26)**および**「使用できるBluetooth対応携帯電話」(P.28)**を参照して、対応する機器か確認してください。

本機を取り付ける（必ずお読みください）

本機を車両に取り付ける前に次の事項を必ず守り、正しく取り付けてください。
また安全にご使用いただくため**「安全上のご注意」（P.5）**をご使用の前によくお読みください。

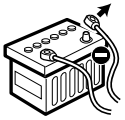
⚠警告

禁止

● 大型トラックや寒冷地仕様のディーゼル車などの24V車で使用しないでください。火災などの原因となります。本機はDC12V ⊖ アース車専用です。

実施

● 配線作業中は、バッテリーの ⊖ 端子を外してから行ってください。ショート事故による感電やケガの原因となります。



● 本機の配線は必ず、取扱説明書に記載してある通りに行ってください。配線を間違えますと、火災、その他の事故の原因となります。

● 本機を取り付けの際には、必ず付属の取付用部品をご使用ください。取付用付属品をご使用にならないと、製品内部を壊し、ショート事故による火災が起こるおそれがあります。
また、取り付け不備により運転中に製品が外れて人に当たるなど、ケガの原因となります。

● 車両の板金部の近くを通るコードには、保護用テープを巻いてください。
コードが切れると、ショート事故により、火災となるおそれがあります。

● バッテリー電源（黄）を接続する車両側電源のヒューズ容量が、本機のヒューズ容量（10A）以上であることを確認してください。
また、別売品のパワーアンプなどを接続する場合は、それらと本機との総ヒューズ容量が車両側のヒューズ容量以下であることを確認してください。もし、超える場合には、バッテリーから直接電源を取ってください。車両側のヒューズ容量を超える電源を接続すると、リード線の電流容量オーバーにより、火災などの事故の原因となります。

● 電源端子およびスピーカー端子のカバーが、端子の先端より長い場合は、接続が不完全になる場合があります。このような場合は、カバーの長さを端子の長さと同じになるように切り取ってください。

⚠警告

実施

● 本機の取り付け終了後に、車のブレーキランプ、ヘッドランプ、ウィンカー、ワイパーなどが正常に動作することを確認してください。正常に動作しない場合は、正常に動作するように取り付けをやり直してください。

● 事故防止のため、電池やネジなどの小物類は幼児の手の届かないところに保管してください。万一飲み込んだ場合は、直ちに医師に相談してください。

禁止

● コードの被覆を切って、他の機器の電源を取ることは絶対にお止めください。リード線の電流容量をオーバーし、火災・感電の原因となります。

● 本機を前方の視界を妨げる場所や、運転操作を妨げる場所、同乗者に危険を及ぼす場所には取り付けないでください。交通事故やケガの原因となります。

● アースコードを、ステアリング部やブレーキライン系統などの重要保安部品のボルトやナットに取り付けないでください。事故などの原因となります。

● 車両電源配線用コード以外で延長しないでください。
コードの被覆が破れやすく、ショート・発熱事故による火災が起こるおそれがあります。また、電流容量オーバーにより、火災が起こるおそれがあります。

注意

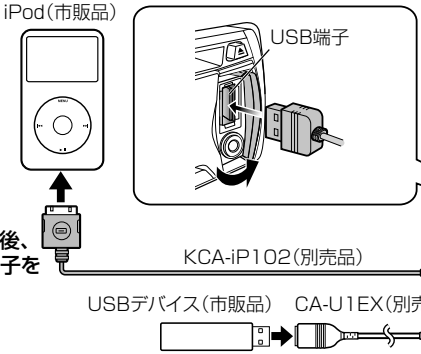
● 車体に穴を開けて取り付ける際は、パイプ類・タンク・電気配線などの位置を確認のうえ、これらと当たったり接触することがないようにしてください。火災の原因になります。

● 本機、または車両のヒューズが切れたときは、コードがショートしていないことを確認後、必ずヒューズに表示されている容量（アンペア数）の新しいヒューズと交換してください。規定容量以外のヒューズを使用しますと、火災の原因になります。

● 本機は自動車のコンソールに設置してください。
本機の使用中および使用直後は、本体の背面や側面などの金属部分が熱くなっています。直接触ることはお止めください。火傷をする場合があります。

● バッテリーの㊀端子を外すと、車に装着しているコンピューターのメモリーが消えたり、車両（外国車など）の電装系に不具合が発生する場合があります。詳しくはカーディーラーにお問い合わせください。

配線をしましょう

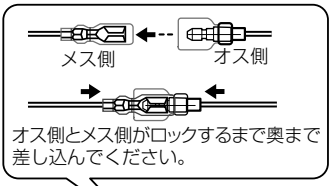


※使用するUSBケーブルには、CA-U1EX（別売品：最大電流500mA）をおすすめします。

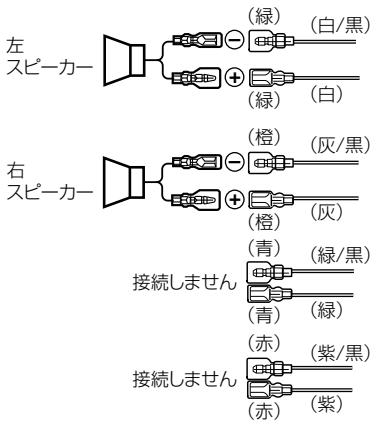
実施

初めにエンジンキーが抜かれていることを確認後、ショート事故防止のため必ずバッテリーの㊀端子を外してください。

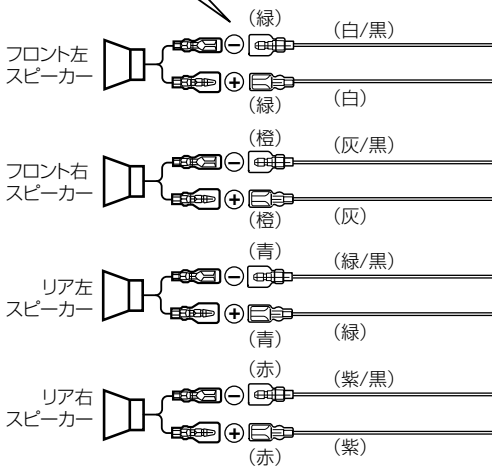
1. エンジンキーを抜きます。
2. バッテリーの㊀端子を外します。
3. 各セットの入･出力コードを確かめて接続します。
4. 電源ハーネスのスピーカーコードを接続します。
5. 電源ハーネスをアースコード(黒)、バッテリー電源コード(黄)、アクセサリー電源コード(赤)の順に接続します。
6. 電源ハーネスのコネクターを本機に接続します。
7. 取り付け終了後に、バッテリーの㊀端子を接続します。
8. 電源をオンします。
9. 本機の**リセットボタン(P.7)**を押します。



2 スピーカー時のスピーカー接続方法

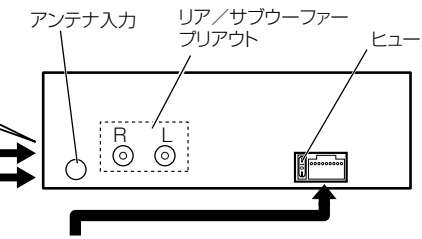


注意 接続しないスピーカーコードの端子は、端子に保護テープを巻くなどの絶縁処理を行ってください。



注意
- スピーカーコードの㊉㊀端子を車のシャーシなどに接触させないでください。
- 複数のスピーカーコードの㊀端子を共通にして接続しないでください。

MEMO
・プリアウト出力にサブウーファーを接続する場合は、**P.45**の"SWITCH PREOUT"を"SUB-W"に設定してください。



注意 ヒューズが切れたときは、コードがショートしていないことを確認後、**ヒューズに表示されている容量（アンペア数）の新しいヒューズと交換してください。**規定容量以外のヒューズを使用すると、火災の原因になります。

電源ハーネス（付属品）

注意 電源ハーネスは「カチッ」と音がするまで確実に差し込んでください。

アンテナコントロール（青）
ANT CONT
ガラスプリントアンテナ、ショートポールアンテナのブースターアンプの電源端子やオートアンテナのコントロール端子に接続してください。（12V DC、300mA以内でご使用ください）
接続しない場合はキャップを付けたままにしてください。

パワーコントロール（青/白）
P.CONT
別売パワーアンプのパワーコントロール端子へ接続してください。
接続しない場合はキャップを付けたままにしてください。

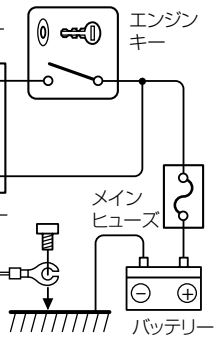
ミュート入力（茶）
MUTE
ナビゲーションシステムのミュート端子に接続してください。

注意 ミュート入力（茶）をケンウッド製以外のカーナビゲーションシステムに接続すると誤動作する場合があります。誤動作する場合は、**P.37**の"NAV GUIDE"を"OFF"に設定してください。

アクセサリー電源（赤）⊕
エンジンキーでオン／オフできる電源へ接続してください。
ACC

バッテリー電源（黄）⊕
メインヒューズを通ったあとで、エンジンキーのオン／オフに関係なく常に電圧のかかっている電源へ接続してください。
BATT

アース（黒）⊖
車の金属部分（バッテリーのマイナス側と導通しているシャーシなどの一部）へ接続してください。



取り付けましょう

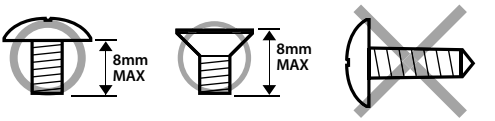
本機を車両ブラケットに取り付ける手順をご紹介します。
使用するのは、付属のトラスネジ（M5×6mm）またはサラネジ（M5×7mm）を4本です。

MEMO

- 別売品のワイヤリングキットや取り付けキットを使用すれば、ご使用のお車に最適の方法で取り付けができます。キットは取り付ける車種に応じて用意されています。詳しくは販売店にお問い合わせください。

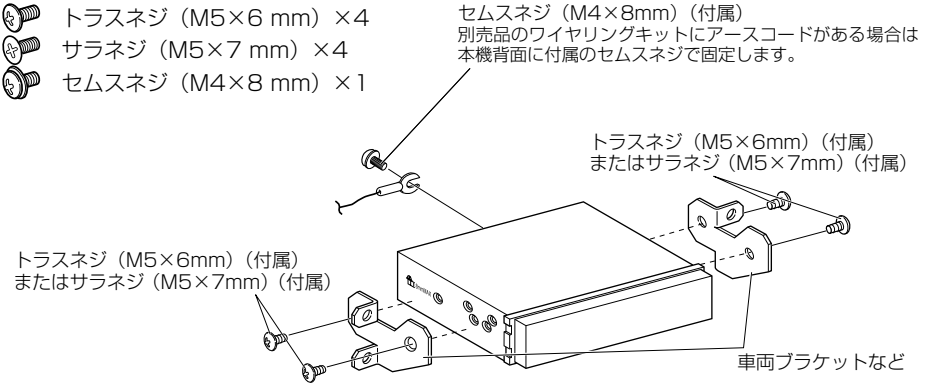
注意

● 取り付けには付属のネジをご使用ください。
付属以外の長いネジを使用すると、本機内部が破壊したり、発煙することがあります。
また、短いネジを使用すると、本機が取付ブラケットなどから外れることがあります。
なお、取り付けネジはトラスネジおよびサラネジが付属しています。車両に合ったネジをご使用ください。



■ 本機に付属しているネジ

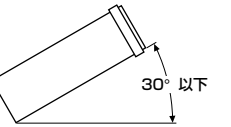
- トラスネジ（M5×6 mm）×4
- サラネジ（M5×7 mm）×4
- セムスネジ（M4×8 mm）×1



注意

● 本機の取り付け角度は30°以下になるように取り付けてください。30°以上の角度で取り付けると音飛びの原因になります。

● 操作パネルを持って取り付け/取り外しをしないでください。破損することがあります。



仕様

FMチューナー部

受信周波数範囲（周波数ステップ）：
76.0 MHz ～ 90.0 MHz（100 kHz）
実用感度（S/N：26 dB）：
11.2 dBf（1 μV/75 Ω）
クワイティング感度（S/N：46 dB）：
19.2 dBf（2.5 μV/75 Ω）
周波数特性（±3.0 dB）：30 Hz ～ 15 kHz
S/N比：63 dB（MONO）
ステレオセパレーション：40 dB（1 kHz）

AMチューナー部

受信周波数範囲（周波数ステップ）
：522 kHz ～ 1629 kHz（9 kHz）
感度　：31 dBμ（36 μV）

CDプレーヤー部

レーザーダイオード：GaAlAs
デジタルフィルター（D/A）：
8倍オーバーサンプリング
D/Aコンバーター：24 Bit
回転数：500 ～ 200 rpm（線速度一定）
ワウ& フラッター：測定限界以下
周波数特性：20 Hz ～ 20 kHz(±1 dB)
高調波歪み率：0.01 %(1 kHz)
S/N比：105 dB（1 kHz）
ダイナミックレンジ：90 dB
MP3デコード：MPEG-1/2 Audio Layer-3準拠
WMAデコード：Windows Media™ Audio 準拠
AACデコード：AAC-LC ".m4a" ファイル

Bluetooth部

規格：Bluetooth Ver.2.1+EDR 準拠
周波数：2.402 GHz ～ 2.480 GHz
出力：+4dBm(最大)、0dBm(平均)パワークラス 2
最大通信距離：10m
プロファイル：
HFP (Hands Free Profile)
SPP (Serial Port Profile)
PBAP(Phonebook Access Profile)
OPP(Object Push Profile)
A2DP(Advanced Audio Distribution Profile)
AVRCP(Audio/Video Remote Control Profile)

USB I/F部

USB規格：USB 1.1/2.0（Full speed対応）
ファイルシステム：FAT16/32
最大供給電流：DC5V ⎓ 1A
MP3デコード：MPEG-1/2 Audio Layer-3準拠
WMAデコード：Windows Media™ Audio 準拠
AACデコード：AAC-LC ".m4a" ファイル

オーディオ部

最大出力：50 W × 4
定格出力：
30 W × 4（4Ω,1kHz, 10%THD以下）
スピーカーインピーダンス：4 ～ 8 Ω
オーディオコントロール：

バス	100 Hz ± 8 dB
ミドル	1 kHz ± 8 dB
トレブル	12.5 kHz ± 8 dB

プリアウトレベル（CD）：
2500 mV/10 kΩ
プリアウトインピーダンス：
600 Ω以下

AUX入力

周波数特性：20 Hz ～ 20 kHz（±3 dB）
入力最大電圧：1200 mV
入力インピーダンス：10 kΩ

電源部

電源電圧：14.4 V（10.5 ～ 16 V）
最大消費電流：10 A

寸法・質量

埋込寸法（W × H × D）：
178 mm × 50 mm × 160 mm
質量（重さ）：1.3 kg

付属部品

電源ハーネス：1本
トラスネジ(M5 × 6 mm)：4本
サラネジ(M5 × 7 mm)：4本
セムスネジ(M4 × 8 mm)：1本

MEMO

- これらの仕様およびデザインは、技術開発にともない予告なく変更になる場合があります。

保証とアフターサービス（必ずお読みください）

保証について

● **保証書**

この製品には、保証書を添付しております。保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

● **保証期間**

お買上げの日より**1年**です。

修理を依頼されるときは

「故障かな?と思ったら」（P.46）を参照してお調べください。それでも異常があるときは、本機の電源をオフにして、お買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンターにお問い合わせください。**「ケンウッド 全国サービス網」（P.57）**をご参照ください。

修理に出された場合は、お客様が登録、設定したメモリー内容がすべて消去されることがあります。あらかじめご了承ください。

● **保証期間中は...**

保証書の規定に従って、お買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンターが修理させていただきます。ご依頼の際は保証書をご提示ください。
本機以外の原因（衝撃や水分、異物の混入など）による故障の場合は、保証対象外になります。詳しくは保証書をご覧ください。

● **保証期間経過後は...**

お買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンターにご相談ください。修理によって機能が維持できる場合はお客様のご要望により有料にて修理いたします。
補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後6年です。
（補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。）

● **持込修理**

この製品は持込修理とさせて頂きます。

- 本機をお持ちになるときは、接続しているユニットも一緒にお持ちください。（本機や一緒に持ち込まれるユニット内のディスクなどのメディアはあらかじめ取り出してください。）
- 本機を修理に持ち込まれる際は、輸送中に傷が付くのを防ぐため、包装してください。

● **修理料金のしくみ（有料修理の場合は、つぎの料金が必要です。）**

- **技術料：製品の故障診断、部品交換など故障箇所の修理および付帯作業にかかる費用です。**
  技術者の人件費、技術教育費、測定器等設備費、一般管理費等が含まれます。
- **部品代：修理に使用した部品代です。**
  その他修理に付帯する部材等を含む場合があります。

なお、アフターサービスについてご不明な点は、お買上げの販売店またはケンウッドサービスセンターにご遠慮なくお問い合わせください。

ケンウッド 全国サービス網

アフターサービスについてのお申し込みは、お買上げの販売店またはお近くのケンウッドサービスセンターへお申しつけください。

北海道			
札幌サービスセンター	〒004-0005	札幌市厚別区厚別東5条1-2-29	☎(011) 807-3003

東北			
仙台サービスセンター	〒984-0011	仙台市若林区六丁の目西町7-13	☎(022) 287-0151

関東・信越			
さいたまサービスセンター	〒331-0812	さいたま市北区宮原町1-202	☎(048) 778-8714
千葉サービスセンター	〒277-0863	柏市豊四季512-10-67	☎(04) 7175-4322
横浜サービスセンター	〒226-8525	横浜市緑区白山1-16-2	☎(045) 939-6242
八王子サービスセンター	〒192-8525	東京都八王子市石川町2967-3	☎(042) 646-6914
新潟サービスセンター	〒950-0913	新潟市中央区鐙1-5-23	☎(025) 245-2177
東京サービスセンター	〒135-0023	東京都江東区平野3-2-6 木場パークビル1F	☎ 0120-2727-87

(修理持込専用窓口)　電話でのお問い合わせは、JVCケンウッドカスタマーサポートセンター(裏表紙をご覧ください)にて承ります。

中部・甲州			
名古屋サービスセンター	〒481-0041	北名古屋市九之坪鴨田121-1	☎(0568) 24-1644
静岡サービスセンター	〒420-0816	静岡市葵区沓谷5-61-1	☎(054) 262-8700
金沢サービスセンター	〒921-8062	金沢市新保本4-65-17	☎(076) 269-4821

近畿・四国			
大阪サービスセンター	〒532-0027	大阪市淀川区田川2-4-28	☎(06) 6390-8005
高松サービスセンター	〒761-8057	高松市田村町205-1	☎(087) 802-6055

中国			
広島サービスセンター	〒730-0825	広島市中区光南3-9-17	☎(082) 241-0023

九州			
福岡サービスセンター	〒812-0031	福岡市博多区沖浜町11-10 サンイースト福岡3F	☎(092) 283-6675
鹿児島サービスセンター	〒891-0114	鹿児島市小松原1-5-17	☎(099) 268-0030
沖縄サービスセンター	〒901-2224	宜野湾市真志喜1-11-12 コモンズビル1F	☎(098) 898-3631

■ サービスセンターの営業時間のご案内

受付時間　10:00 ～ 18:00（土曜、日曜、祝日および当社休日は休ませていただきます。）
（各サービス窓口の名称、所在地、電話番号は変更になることがありますのでご了承ください。）

- "Made for iPod," and "Made for iPhone" mean that an electronic accessory has been designed to connect specifically to iPod, or iPhone, respectively, and has been certified by the developer to meet Apple performance standards. Apple is not responsible for the operation of this device or its compliance with safety and regulatory standards. Please note that the use of this accessory with iPod, or iPhone may affect wireless performance.
- iPhone, iPod, iPod classic, iPod nano, and iPod touch are trademarks of Apple Inc., registered in the U.S. and other countries.
- The "AAC" logo is a trademark of Dolby Laboratories.
- Androidは、Google Inc.の登録商標です。
- Windows Media™は、米国 Microsoft Corporation の米国、およびその他の国における商標です。
- Bluetoothとそのロゴマークは、Bluetooth SIG, INC の登録商標で、株式会社JVCケンウッドはライセンスを受けて使用しています。その他の商標および名称はそれぞれの所有者に帰属します。

株式会社 JVCケンウッド

〒221-0022　神奈川県横浜市神奈川区守屋町3-12

- 商品に関するお問い合わせは、JVCケンウッドカスタマーサポートセンターをご利用ください。

フリーダイヤル	0120-2727-87
	携帯電話、PHS、IP電話からは 045-450-8950
FAX	045-450-2308
住所	〒221-0022 神奈川県横浜市神奈川区守屋町3-12
受付時間	月曜～金曜　9:30～18:00
	土曜　9:30～12:00、13:00～17:30
	（日曜、祝日および当社休日は休ませていただきます）

- 修理などアフターサービスについては、お買い上げの販売店、または「ケンウッド全国サービス網」をご参照のうえ、最寄りのサービスセンターにご相談ください。
- カスタマーサポートの向上のため、ユーザー登録（My-Kenwood）をお願いしています。
  弊社ホームページ内で登録ができます。なお、詳細につきましては、利用規約等を事前にお読みください。
  http://jp.my-kenwood.com